I-O DATA

管理マニュアル

エビデンスソリューション
APX-TSFI/5P

すぐ取り出せる場所に保管してください

MANU000449

MANU000449

もくじ

注意事項など
本製品を使う上で、お守りいただきたいご注意です。必ずお読みください。

使う前に
- 安全のために ... 3
- 使用上のご注意 ... 5
- 添付品を確認する ... 7
- 動作環境 ... 7
- 各部の名称・機能 ... 8

初期設定
本製品の設置·導入方法です。

導入する
- ステップ1　ISS に登録する ... 11
- ステップ2　設置する ... 13
- ステップ3　NarSuS に登録する ... 21
- ステップ4　IOTSTool の初期設定 ... 26
- 電源を切る場合 ... 29

タイムスタンプツール
タイムスタンプツールの使い方やその他の設定です。

タイムスタンプツールを使う
- タイムスタンプツールの使い分け ... 30
- バックグラウンドモード ... 31
- 自動タイムスタンプ ... 32
- 手動タイムスタンプ ... 34
- 一括検証 ... 36
- IOTSTool の設定 ... 38

その他の設定・故障時の対応
本製品のその他の設定です。必要に応じてご確認ください。

その他の設定
- パスワード変更 ... 48
- IP アドレス設定 ... 49
- メール設定 ... 50
- Func ボタン設定 ... 51

故障時の対応
- 困ったときには ... 52
- 故障と思ったら… ... 53
- システムリカバリーする ... 54

資料
その他本製品の資料情報です。必要に応じてご確認ください。

資料
- タイムスタンプ仕様 ... 56
- 出荷時設定 ... 56
- ランプの状態 ... 56
- ログ、メール一覧 ... 57
- 対応ソフトウェア ... 59
- ハードウェア仕様 ... 62
- アフターサービス ... 63
- ハードウェア保証規定 ... 69

使う前に

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告・注意表示

⚠ **警告**	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
⚠ **注意**	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

🚫	禁止	❗	指示を守る

⚠警告

本製品を修理・改造・分解しない
🚫 火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
🚫 感電の原因になります。

故障や異常のまま、つながない
🚫 本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

AC アダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
🚫 水や洗剤などが AC アダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
- 万一、AC アダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない
🚫 誤って飲み込み、窒息や胃などのへ障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
🚫 火災の原因になります。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてからおこなう
❗ 電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。

決められた電源で使用する
❗ 所定以外の電源で、本製品を使用すると火災・感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める
❗ そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

⚠警告　●電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない

電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながない

発火や感電の原因になります。
添付の AC アダプターや電源コードは、本製品専用です。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない

発火、発熱のおそれがあります。

コンセントまわりは定期的に掃除する

長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

熱器具のそばに配線しない

電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

電源コードや AC アダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない

電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

そのまま使うと発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない

発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、火災や感電の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

テーブルタップの定格容量（1500W などの記載）を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠注意

本製品を踏まない

破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

取り付け、取り外しの際は手袋をつける

ハンダ付けの跡やエッジ部分などがとがっている場合があります。誤って触れると、けがをするおそれがあります。

人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

≪重要≫データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。
本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは
本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。）
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

・ハードディスク（SSD）に記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスク（SSD）をフォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。
※ハードディスク（SSD）上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスク（SSD）を譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
・本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

その他のご注意

・動作中に本製品や外付 HDD の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
・本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
・動作確認済み以外のソフトウェアは、インストール（利用）しないでください。本製品の安定運用に影響を及ぼすおそれがあります。
動作確認済みのソフトウェアは以下の弊社 Web ページをご確認ください。
https://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_soft.htm
・本製品を以下のような機能を設定して、利用することはできません。
　・ファイアウォール、VPN、Web キャッシュの役割
　・メールサーバー
　・認証サーバー（ドメインコントローラー等）
　・ネットワーク・インフラストラクチャ・サービス（Web サーバー等）
・本製品は「休止」「スリープ」には対応しておりません。

お手入れ方法

本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
・汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
・ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー / クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

添付品を確認する

□ AC アダプター（1 個）□ 電源コード（1 本）　□ LAN ケーブル（2 本）
□ ロックキー（2 個）　□ リカバリーメディア（1 枚）
□ オンサイト保守パックご利用案内 / サービス内容 / 規約（1 枚）　☑ 管理マニュアル（本書）

ユーザー登録はこちら…https://ioportal.iodata.jp/
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしてください。
シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
（例：ABC1234567ZX）

動作環境

設定に必要な環境

本製品の設定を行うには、以下のどちらかの環境が必要です。

環境①　Windows リモートデスクトップ接続可能なパソコン
（Windows 10、Windows 8.1）
環境②　HDMI コネクターを搭載したパソコン用ディスプレイ、USB 接続のキーボード、USB 接続のマウス（環境①が無い場合）

ご注意

●本製品の設定には、Windows のリモートデスクトップ機能を利用しています。Mac など他のパソコンからの設定はおこなえません。上記「本製品の設定に必要な環境」の「環境②」をご用意ください。
●本製品は、RAID 構成により、ハードディスクの故障によるデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできますが、ウイルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。USB 接続した HDD などへバックアップしてください。

対応外付 HDD

以下の弊社 Web ページをご確認ください。
https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm

ご注意

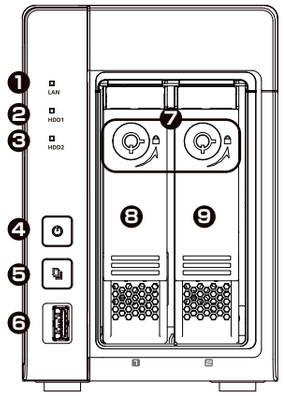
●外付 HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこないます。

対応 UPS

以下の弊社 Web ページをご確認ください。
https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm
※ USB 3.0 ポートは対応しておりません。USB 2.0 ポートに接続してご利用ください。

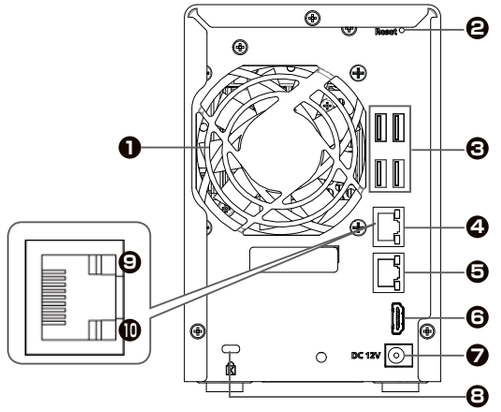
各部の名称・機能

前面



❶ LAN ランプ	橙点滅	LAN1/LAN2 アクセス時
	消灯	LAN1/LAN2 未接続時
❷ HDD1 ランプ ❸ HDD2 ランプ	緑点灯	HDD（SSD）正常認識時
	緑点滅	HDD（SSD）アクセス時
	赤点灯	HDD（SSD）エラー時
	消灯	HDD（SSD）未接続時
❹電源ボタン STATUS ランプ		短押し（1 秒程度）→本製品の電源を ON/OFF します。 ※電源 ON の状態で 3 秒以上押し続けると強制電源 OFF になります。 3 秒以上電源ボタンを押し続けないでください。 また、本製品の状態を示します。 詳しくは、【ランプの状態】（56 ページ）をご覧ください。
❺ Func ボタン USB ランプ	ボタン	3秒以上押すとあらかじめ登録したプログラムを実行できます。また、エラー発生時にブザーが鳴りつづけている時、2秒以内押すとブザーを停止します。
	青点灯	USB 機器認識時
	消灯	USB 機器未接続時
❻ USB 3.0 ポート		増設用 USB ポートです。
❼カートリッジ固定ロック		カートリッジをロック / アンロックします。
❽ HDD1 ❾ HDD2		カートリッジを接続します。 脱着レバーは、カートリッジを取り出す際に利用します。

背面



❶ファン		冷却用ファンです。ふさがないでください。
❷ Reset スイッチ		使用しません。
❸ USB 2.0 ポート		外付 HDD などを接続します。
❹ LAN ポート 1		添付の LAN ケーブルを接続します。
❺ LAN ポート 2		添付の LAN ケーブルを接続します。
❻ HDMI コネクター		ディスプレイを接続できます。
❼ DC-IN		添付の AC アダプターを接続します。
❽セキュリティスロット		盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。
❾ ACT/LINK ランプ	橙点灯	LINK 中
	橙点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
❿ 1000/100/10 ランプ	緑点灯	1000BASE-T で接続中
	赤点灯	100BASE-TX で接続中
	消灯	未接続、または 10BASE-T で接続中

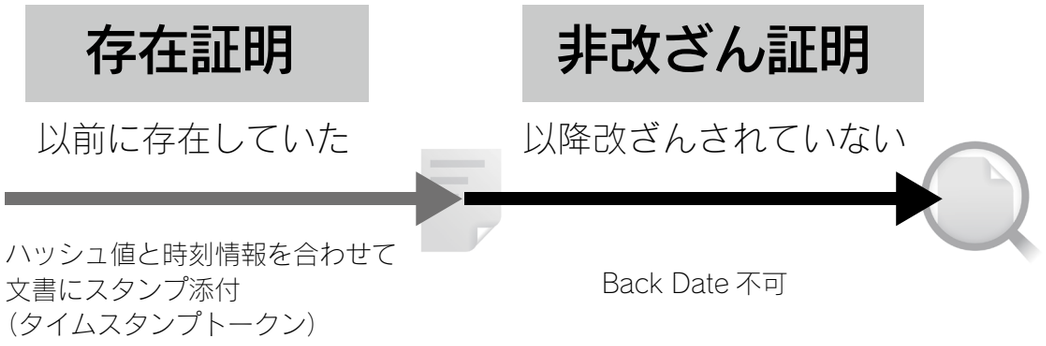
導入する

ご注意

●本製品を利用して電子書類のタイムスタンプを確認する際、インターネット環境が必要です。

タイムスタンプとは?

タイムスタンプとは、電子文書の証拠性を上げる仕組みです。
証拠性を上げるため、作成者以外の第三者が「存在証明」と「非改ざん証明」を証明します。
本製品では、10 年間の有効期限をもつタイムスタンプを 5 年間無制限に押印いただけます。



本製品では、「セイコータイムスタンプサービス」を利用しています。

evi Daemon

（【タイムスタンプ仕様】（56 ページ）参照）

ご注意

●本製品を利用する場合、ISS（アイオー・セーフティ・サービス）の登録が必要となります。

ステップ 1　ISS に登録する

ISS（アイオー・セーフティ・サービス）とは?

アイオー・セーフティ・サービスは、対象製品をより長く安心してご利用いただくために、万一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。
設置から、故障時の交換、NAS 入替えのドキュメント引越しサービスまで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。
オンサイト保守サービスは、故障時、サービスマンがお客様のところへお伺いし、故障品の交換作業などをおこないます。

本商品には、ISS（アイオー・セーフティ・サービス）、SSD 返却不要オンサイト保守（5 年）が含まれております。
別紙【オンサイト保守パックご利用案内 / サービス内容 / 規約】をご確認の上、登録をしてください。

ご注意

● ISS への契約期間が「セイコータイムスタンプサービス」の契約期間になります。

ISS 登録のしかた

1 インターネットに接続可能なパソコンから、以下 URL にアクセスする
https://www.iodata.jp/support/iss/

2



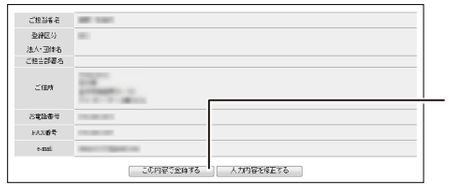
[未登録の方] 下の [こちら] をクリック

3



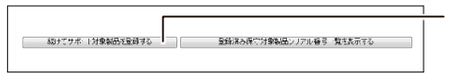
管理者情報を入力し、
[入力内容の確認へ] をクリック

4



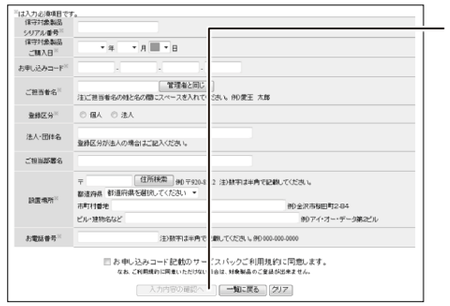
入力内容を確認し、
[この内容で登録する] をクリック

5



[続けてサポート対象製品を登録する]
をクリック

6



保守対象製品の情報を入力し、
[入力内容の確認へ] をクリック

※ [お申込みコード] は、別紙【オンサイト保守パックご利用案内 / サービス内容 / 規約】をご確認ください。

7



①内容に問題がなければ、[お申込みコード記載のサービスパックご利用規約に同意します。] にチェックをつける

② [この内容で登録する] をクリック

これで登録完了です。
「セイコータイムスタンプサービス」の ID、パスワードが表示されますのでメモします。

▼メモ欄

ID	
パスワード	

ステップ2　設置する

設定方法を選ぶ

本製品の設定は、Windows のリモートデスクトップを使用します。
また、DHCP サーバーの有無により手順が異なります。
ご利用の環境をご確認の上、該当する手順をご覧ください。

Windows 7 以降のパソコンと DHCP サーバーがある場合
【設定方法①】（14 ページ）

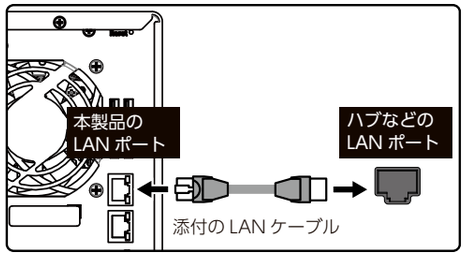
Windows 7 以降のパソコンがあり、DHCP サーバーがない場合
【設定方法②】（16 ページ）

ネットワークを利用せずにセットアップする場合
【設定方法③】（19 ページ）

設定方法①

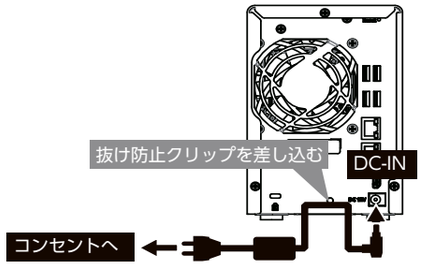
ネットワーク上に、Windows 7 以降のパソコンと DHCP サーバーがある場合の設定手順です。

1 添付の LAN ケーブルを本製品とハブにつなぐ



2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ

※ケーブルフックに引っかけます。



添付の AC アダプターと電源コード

3 前面の電源ボタンを押す



ご注意

- 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】（29 ページ）をご覧ください。
- 必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

4 [リモートデスクトップ接続] を起動する

[リモートデスクトップ接続] の起動方法

- Windows 10 の場合
  [スタート] →[すべてのアプリ] →[Windows アクセサリ] →[リモートデスクトップ接続] をクリック
- Windows 8 の場合
  [スタート] →[リモートデスクトップ接続] をクリック
- Windows 7 の場合
  [スタート] →[すべてのプログラム] →[アクセサリ] →[リモートデスクトップ接続] をクリック

5



①コンピューター名を入力

コンピューター名について
出荷時設定では、APX-TSFI を入力します。

②[接続] をクリック

接続できない場合
【設定方法③】（19 ページ）をお試しください。

6 ログオン画面で、[別のアカウントを使用] を選択

7



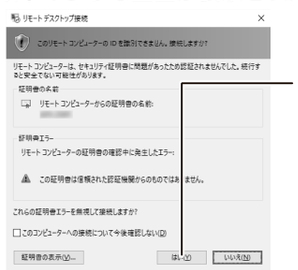
①次を入力
ユーザー名：Administrator
パスワード：admin

② [OK] をクリック

補足事項

- 出荷時パスワードは「admin」です。
  Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

以下のような画面が表示された場合



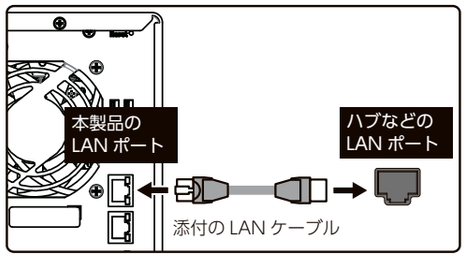
[はい] をクリック

ログオンに成功すると、初期画面が開きます。この画面から設定をおこないます。
次に【ステップ3　NarSuS に登録する】（21 ページ）へお進みください。

設定方法②

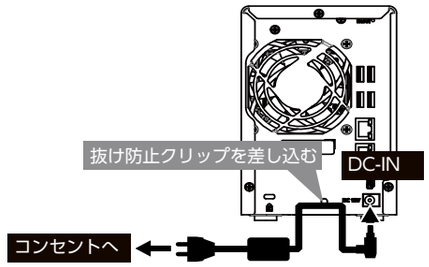
ネットワーク上に、Windows 7 以降のパソコンがあり、DHCP サーバーがない場合の設定手順です。

1 添付の LAN ケーブルを本製品とハブにつなぐ



2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ

※ケーブルフックに引っかけます。



添付の AC アダプターと電源コード

3 前面の電源ボタンを押す



ご注意

- 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】（29 ページ）をご覧ください。
- 必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

4 設定用パソコンの現在の IP アドレスを確認し、メモする

※後で、現在の IP アドレスに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。

5 設定用パソコンの IP アドレスを [IP アドレスを自動的に取得する] に設定する

6 [リモートデスクトップ接続] を起動する

[リモートデスクトップ接続] の起動方法

- Windows 10 の場合
  [スタート] →[すべてのアプリ] →[Windows アクセサリ] →[リモートデスクトップ接続] をクリック
- Windows 8 の場合
  [スタート] →[リモートデスクトップ接続] をクリック
- Windows 7 の場合
  [スタート] →[すべてのプログラム] →[アクセサリ] →[リモートデスクトップ接続] をクリック

7



①コンピューター名を入力

コンピューター名について
出荷時設定では、APX-TSFI を入力します。

②[接続] をクリック

接続できない場合
【設定方法③】（19 ページ）をお試しください。

8 ログオン画面で、[別のアカウントを使用] を選択

9



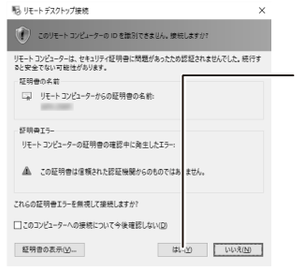
①次を入力
ユーザー名：Administrator
パスワード：admin

②[OK] をクリック

補足事項

- 出荷時パスワードは「admin」です。
  Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

以下のような画面が表示された場合



[はい] をクリック

10 本製品の IP アドレスを手順４でメモした IP アドレスを参考にネットワークに適した値に変更する

11 いったんリモートデスクトップ画面を閉じる
※ IP アドレスを変更したため、通信できなくなります。

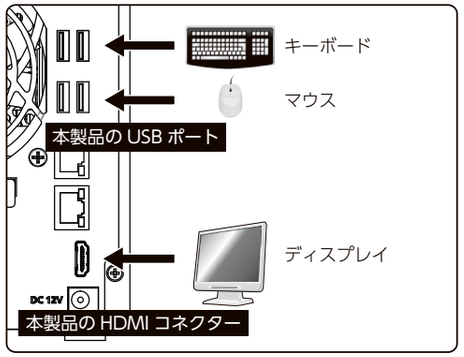
12 設定用パソコンの IP アドレスを元に戻す

次に【ステップ3　NarSuS に登録する】（21 ページ）へお進みください。

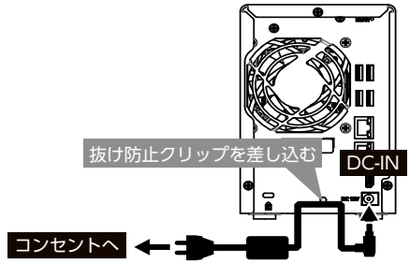
設定方法③

ネットワークを利用せずにセットアップをおこなう場合の設定方法です。

1 ① HDMI コネクターにディスプレイをつなぐ
② USB ポートにキーボード、マウスをつなぐ

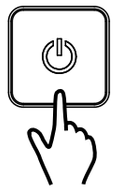


2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ
※ケーブルフックに引っかけます。



添付の AC アダプターと電源コード

3 前面の電源ボタンを押す



ご注意

●動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】（29 ページ）をご覧ください。

4



[Windows 10] をクリック

5



① [admin] を入力

② [→] をクリック

補足事項

●出荷時パスワードは「admin」です。
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

ログオンに成功すると、初期画面が開きます。この画面から設定をおこないます。
次に【ステップ3　NarSuS に登録する】（21 ページ）へお進みください。

ステップ3　NarSuS に登録する

NarSuS（ナーサス）とは?

NarSuS は、24 時間 365 日、あなたの NAS を見守る安心サービスです。
NAS にトラブルが発生したら、自動的に NarSuS データセンターに状態が送信されます。
NarSuS データセンターは、それを受けてユーザーにメールでトラブルをお知らせします。画面に表示される対処方法にしたがって作業すればトラブル対策ができます。

●問題が発生したら、メールでお知らせ。わかりやすい管理画面で、設置した NAS の状態を一括管理できます。
●万一のトラブル時は、対処方法を管理画面で確認できます。あわてずに適切な対処ができます。
● RAID の状態やシステム情報、NAS の温度や利用容量などをログやグラフで表示できます。

セキュリティへの配慮

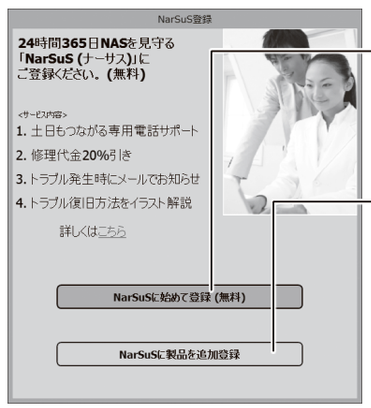
●通信は NAS から NarSuS データセンターへの一方通行であり、NarSuS データセンターから NAS に接続しません。NAS から送信するデータは NAS の稼働情報であり、NAS 内のユーザーデータは一切送信しません。
● NarSuS の通信経路は HTTPS を使って暗号化されています。
● データセンターは国内のデータセンター専用施設に設置されており、情報セキュリティに十分な配慮をおこなっています。

ご注意

●本機能を利用するためには、常時ネットワークに接続しておく必要があります。
●本機能は、IPv4 ネットワークでのみ使用できます。
●インターネットエクスプローラーでご利用の場合、あらかじめ "https://www.narsus.jp" を [インターネットオプション] → [セキュリティ] から [信頼済みサイト] に登録しておいてください。

1

※本製品へのログオンに成功したら、以下のような画面が表示されます。

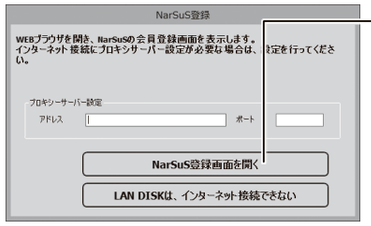


●他製品 NarSuS 登録をしたことがない場合
［NarSuS にはじめて登録（無料）］をクリック

●すでに他製品を登録している場合
［NarSuS に製品を追加登録］をクリック

※ NarSuS 登録をしてから、本製品の設定をおこなってください。

2

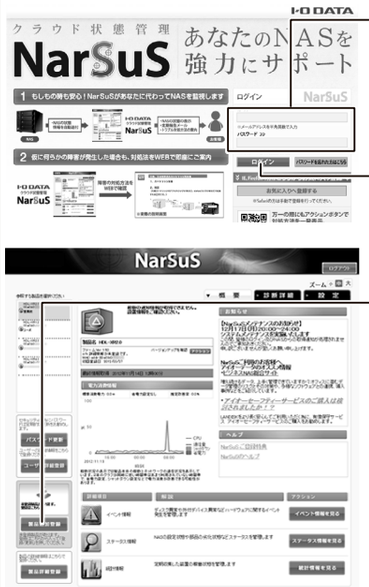


[NarSuS 登録画面を開く] をクリック

[プロキシサーバー設定]
インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、ご利用のネットワーク管理者に設定等をご確認ください。

インターネットに接続できない場合
【インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する】（24 ページ）をご覧ください。

追加で登録する場合



①登録済みの [ID]、[パスワード] を入力

② [ログイン] をクリック

③画面左下の [製品追加登録] をクリック

このあと、手順 3 へお進みください。

3 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する
※ LAN ポートが複数ある場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

4 登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。
以上で NarSuS 登録は完了です。
次に【ステップ4　IOTSTool の初期設定】（26 ページ）へお進みください。

ご注意

●登録に失敗した場合、以下をご確認ください。
・本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されていること（LAN ケーブルが正しく接続されていること）
・プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること
・本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること
・お使いの Web ブラウザーのキャッシュ（Cookie）をクリアして再度お試しください。

NarSuS へのログイン方法

方法 1　以下 URL にアクセスしてください。
https://www.narsus.jp/

方法 2　①タスクトレイのアイコンをクリック



② NarSuS 設定画面右上の
[NarSuS ログイン] ボタンをクリック



NarSuS 設定画面



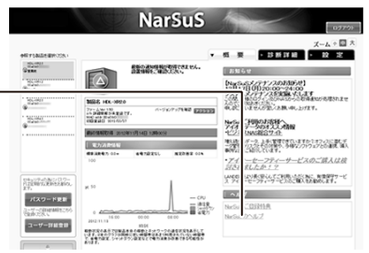
※アップデート時に再起動する場合があります。 ご注意ください。

NarSuS 設定	プロキシの設定が必要な場合、［プロキシサーバー］ にチェックをつけ、 プロキシサーバーの［アドレス］ と［ポート］ を入力します。 ※設定内容については、 ご利用のネットワーク管理者に確認してください。 ※［認証用プロキシ設定］ をクリックすると、 認証用の［ユーザー名］ ［パスワード］ を設定できます。	
アップデート設定	自動アップデート設定	NarSuS アプリや NarSuS のイベント通知の定義ファイルが更新された場合の、 自動アップデートについて設定します。 自動アップデートする場合は、 実行する曜日、時刻を設定できます。 ※出荷時には、自動アップデートは有効になっています。
	プログラム手動更新	クリックすると、 本 NarSuS アプリを更新します。
	定義ファイル手動更新	クリックすると、 NarSuS のイベント通知の定義ファイルを更新します。

※アップデート時に再起動する場合があります。 ご注意ください。
※本設定は、 管理ソフト「ZWS Manager」 のアップデートも対象です。

利用コードの確認
設定によっては、利用コードを求められます。
NarSuS の Web ページにログインし、本製品を選んだ後、［製品詳細登録］ をクリックして、利用コードを確認してください。

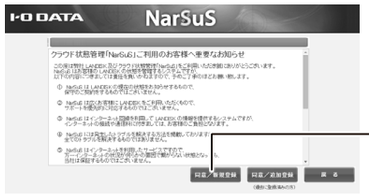
NarSuS の利用方法
NarSuS へログイン後、
[NarSuS のヘルプ] をクリック



インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する

1 インターネットに接続できるパソコンから、次の URL にアクセスする
https://www.narsus.jp/user-reg

2



内容を確認し、
[同意 / 新規登録] をクリック

追加で登録する場合



① [同意 / 追加登録] をクリック



②登録済みの [ID]、[パスワード] を入力

③ [ログイン] をクリック

このあと、手順 3 へお進みください。

3 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する
※ LAN ポートが複数ある場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

4



登録完了画面に表示された
「ご利用コード」をメモする

※登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。

5 本製品にログオンする

6



①メモした [ご利用コード] を入力

② [設定する] をクリック

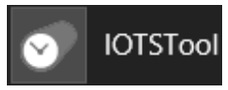
以上で NarSuS 登録は完了です。
次に【ステップ4　IOTSTool の初期設定】（26 ページ）へお進みください。

ステップ４　IOTSTool の初期設定

IOTSTool（アイ・オー タイムスタンプツール）とは?

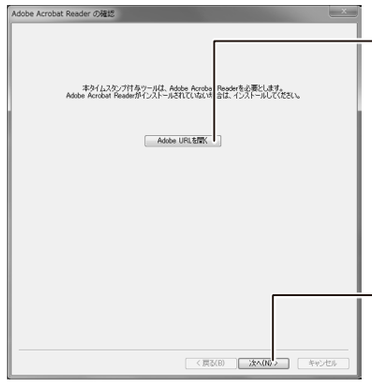
IOTSTool は、電子文書（スキャンした書類等）が保管されるフォルダーを監視して自動でタイムスタンプを付与するツールです。また、手動で選択したファイルに対してタイムスタンプを付与することもできます。
PDF 以外のファイルに対しても、頭紙 (台紙) として PDF ファイルを利用しタイムスタンプを付与できます。

1



スタートメニューから［IOTSTool］を起動する

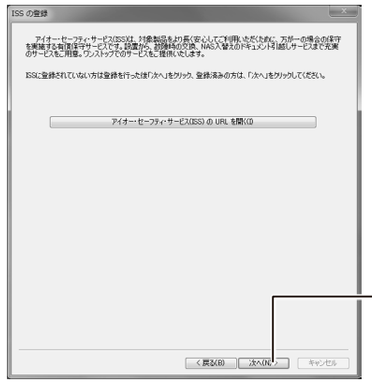
2



①［Adobe URL を開く］をクリック
Web ブラウザーが起動し、Adobe Acrobat Reader のダウンロードページを開きます。
画面の指示にしたがって、インストールしてください。
※本ツールを使用するためには、Adobe Acrobat Reader が必要です。最新の Adobe Acrobat Reader をご利用ください。

②［次へ］をクリック

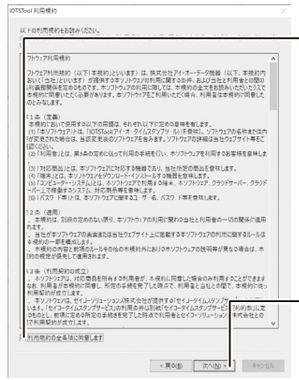
3



【ステップ１　ISS に登録する】（11 ページ）で ISS の登録が完了していない場合は、別紙の【ご利用案内】をご確認いただき、登録を完了してください。

［次へ］をクリック

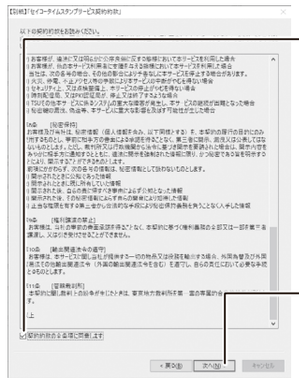
4



①内容を確認し、［利用規約の全条項に同意します］にチェックをつける

②［次へ］をクリック

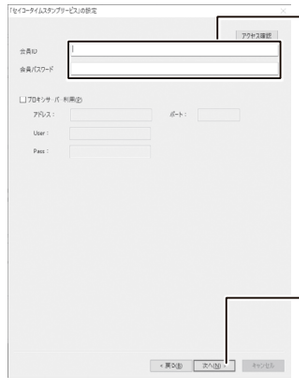
5



①内容を確認し、［契約約款の全条項に同意します］にチェックをつける

②［次へ］をクリック

6

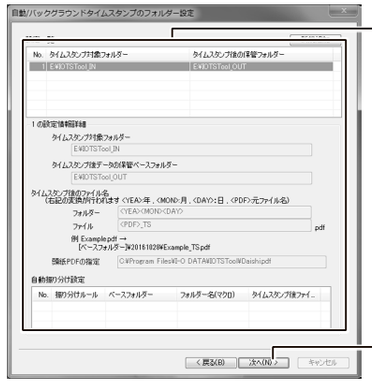


① ISS 登録時に発行された ID/ パスワードを確認し入力

その他の設定については、【「セイコータイムスタンプサービス」の設定】（45 ページ）をご覧ください。

②［次へ］をクリック

7

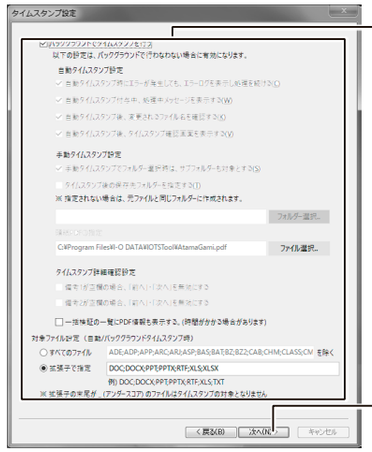


①必要に応じて設定をおこなう

設定内容については、【自動 / バックグラウンドタイムスタンプのフォルダー設定】（38 ページ）をご覧ください。

②［次へ］をクリック

8

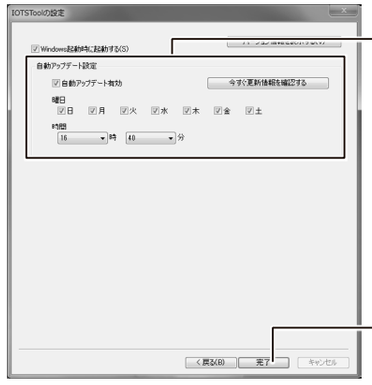


①必要に応じて設定をおこなう

設定内容については、【タイムスタンプ設定】（43 ページ）をご覧ください。

②［次へ］をクリック

9



①必要に応じて設定をおこなう

設定内容については、【IOTSTool の設定】（42 ページ）をご覧ください。

②［完了］をクリック

以上で、初期設定は完了です。
タイムスタンプツールの使い方については、【タイムスタンプツールを使う】（30 ページ）をご覧ください。

電源を切る場合

本製品の電源を切る場合は、必ず以下のいずれかの手順にしたがってください。

ご注意

- 外付 HDD やプリンターがある場合は、本製品の電源を切ってから、外付 HDD やプリンターの電源を切ってください。
- ファイルコピー中に本製品や外付 HDD の電源を切るとコピーの処理が正常におこなわれません。本製品や外付 HDD のアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。
- 本製品設定中は本製品の電源を切らないでください。
- 本製品起動処理中は本製品の電源を切ることはできません。
- 長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから外しておくことをおすすめします。

本製品の電源ボタンでシャットダウンする場合

本製品前面の電源ボタンを短押し（1 秒程度）します。
シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

ご注意

- 電源ボタンを長押し (3秒以上) しないようご注意ください。3 秒以上押した場合、強制電源断状態となり製品再起動後に RAID リビルドが発生する場合があります。
- 本製品がロック状態になっていると、電源ボタンを押してもシャットダウンできない場合があります。その場合は、USB キーボードでロックを解除してから電源ボタンを押してください。

前面の電源ボタンを押す



Windows のリモートデスクトップにてシャットダウンする場合

スタートメニューから [終了オプション] をクリックし、[シャットダウン] を選択して、[OK] ボタンをクリックします。
※ [説明] を入力してください。入力しないと、[OK] ボタンがクリックできません。
※ [オプション] は、必要に応じて選択してください。
シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

タイムスタンプツールを使う

タイムスタンプツールの使い分け

タイムスタンプツール（IOTSTool Ver.2.00 以降）でのタイムスタンプ処理のしかたには以下の方法があります。用途にしたがって使い分けください。

バックグラウンドモード（出荷時設定） 31 ページ参照	本製品で別途設定した共有フォルダーに、自動でタイムスタンプを付与したい場合に最適です。 本製品にログインしていなくても、ネットワーク越しに対象ファイルをコピーするだけで、自動タイムスタンプ処理がおこなえます。このため、本製品のセキュリティに配慮した運用が可能になります。 ただし、バックグラウンドモードのままでは、備考（コメント）追加はできません。バックグラウンドモードを解除すると、手動タイムスタンプや一括検証で、処理後のファイルに備考（コメント）を追加できます。
自動タイムスタンプ 32 ページ参照	本製品に接続したスキャナーから取り込んだ、PDF にタイムスタンプを付与したい場合に最適です。 本製品の保存先フォルダーをタイムスタンプ対象フォルダーに設定することで、スキャナーで読み取った画像に自動でタイムスタンプ付与がおこなわれます。 さらに、リアルタイムにタイムスタンプの付与確認ができ、備考（コメント）追加もできます。
手動タイムスタンプ 34 ページ参照	プロジェクト等の一定期間の作業完了後に、集約された電子文書に一括してタイムスタンプを付与する場合に最適です。 タイムスタンプ付与後の保存フォルダーを指定が可能です。ただし、選択できるファイル数は 10 万までです。

タイムスタンプツール使用上のご注意

●ファイル名やフォルダー名に以下の半角文字や環境依存文字、制御文字、予約されている単語は使用できません。

¥　/　:　*　?　"　<　>　|

●以下の事例時には、処理に時間がかかる場合があります。あらかじめテストしてからご利用ください。

・大量のファイルに対してタイムスタンプ処理をおこなう場合

例）手動タイムスタンプ：1 万ファイル (232KB の PDF ファイル) で、約 6 時間 40 分

・設定［一括検証の一覧に PDF 情報も表示する］が有効の場合　（PDF 情報も表示する設定時）

※【タイムスタンプ設定】（43 ページ）

例）一括検証：1 万ファイル (232KB の PDF ファイル) で、約 10 時間 30 分

バックグラウンドモード

パソコンからネットワーク越しにアクセスし、設定した共有フォルダーにファイルをコピーすることにより、自動でタイムスタンプ処理がおこなわれます。

出荷時設定でバックグラウンドモードが有効になっています。
バックグラウンドモードの設定については、【タイムスタンプ設定】（43 ページ）をご覧ください。
対象フォルダーの設定については、【自動 / バックグラウンドタイムスタンプのフォルダー設定】（38 ページ）をご覧ください。

ネットワーク越しにタイムスタンプ処理をおこなう

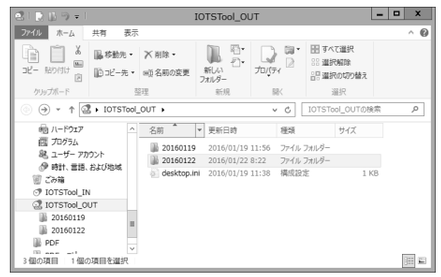
1 クライアントパソコンから、設定した本製品の共有フォルダーにアクセスする

2 

タイムスタンプ処理をするファイル（フォルダー）をドロップ

出力先に設定したフォルダーをダブルクリックすると、これまで処理したファイルを参照できます。





タイムスタンプ処理をした日付のフォルダーに保存されます。

タイムスタンプ処理に失敗した場合

NarSuS 通知され、元データはタイムスタンプ対象フォルダー内の [（日付）_Fail] フォルダーに移動します。

※日付は、年月日で表示されます。例）2016 年 11 月 1 日の場合、“20161101”

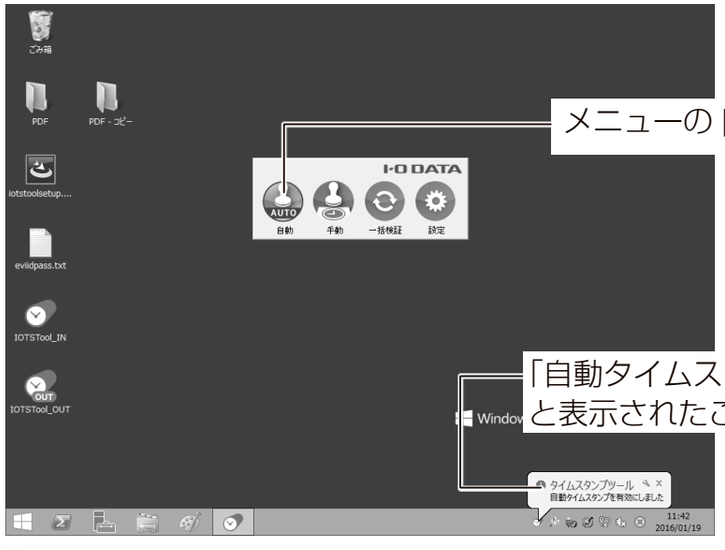
[（日付）_Fail] フォルダーフォルダーの内容を確認し、必要なファイルに再度タイムスタンプをおこなってください。タイムスタンプ処理完了後に、このフォルダーは削除してください。

[（日付）_Fail] フォルダーが残っていると、NarSuS にエラーが解決したという情報が送られないため、エラーの状態のまま保存されます。

自動タイムスタンプ

対象フォルダーを監視し、見つかったファイルに自動でタイムスタンプ処理をします。

自動タイムスタンプを有効にする



メニューの [自動] をクリック

※再度クリックすると、無効になります。

「自動タイムスタンプを有効にしました」と表示されたことを確認

自動タイムスタンプが有効にならない場合

バックグラウンドモードが有効になっています。

設定からバックグラウンドモードを無効にしてください。（【自動 / バックグラウンドタイムスタンプのフォルダー設定】（38 ページ）参照）

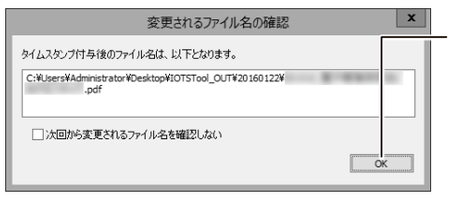
自動タイムスタンプ処理をおこなう

1 タイムスタンプ対象フォルダーにタイムスタンプ処理をするファイルをドロップ

※タイムスタンプ対象フォルダーは、設定画面で設定できます。
（【自動 / バックグラウンドタイムスタンプのフォルダー設定】（38 ページ）参照）



2



内容を確認して、[OK] をクリック

※ [次回から変更されるファイル名を確認しない] にチェックをつけると、次回からこの画面は表示されません。

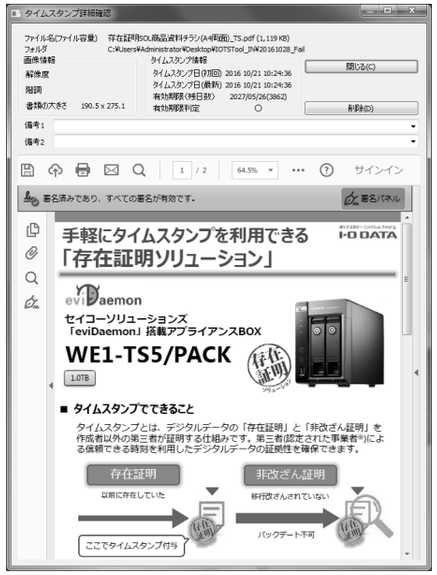


処理を開始します。

[自動タイムスタンプ後、タイムスタンプ確認画面を表示する] が有効になっている場合は、タイムスタンプ処理されたファイルが表示されます。

※ファイルイメージを表示させるには、Adobe Acrobat Reader が必要です。

▼タイムスタンプ詳細確認画面



画像情報	解像度、階調、書類の大きさを表示します。 ※ファイルによっては、情報が表示されない場合があります。
タイムスタンプ情報	タイムスタンプ日､有効期限 (残日数)､有効期限判定の情報を表示します。 有効日判定は、残日数により、以下のように表示されます。
30 日以上	○
30 日未満	△
0 日	×
タイムスタンプ無し 取得できなかった	-
[閉じる] ボタン	この画面を閉じます。
[削除] ボタン	ファイルを削除します。
備考１、備考２	コメントを記入できます。

出力先に設定したフォルダーをダブルクリックすると、これまで処理したファイルを参照できます。





タイムスタンプ処理をした日付のフォルダーに保存されます。

タイムスタンプ処理に失敗した場合

NarSuS 通知され、元データはタイムスタンプ対象フォルダー内の [（日付）_Fail] フォルダーに移動します。

※日付は、年月日で表示されます。例）2016 年 11 月 1 日の場合、“20161101”

[（日付）_Fail] フォルダーフォルダーの内容を確認し､必要なファイルに再度タイムスタンプをおこなってください。タイムスタンプ処理完了後に、このフォルダーは削除してください。

[（日付）_Fail] フォルダーが残っていると、NarSuS にエラーが解決したという情報が送られないため、エラーの状態のまま保存されます。

手動タイムスタンプ

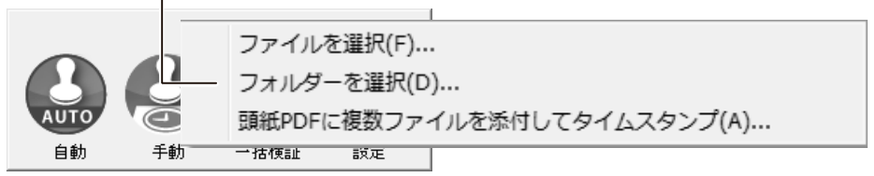
任意のファイルやフォルダーを指定して、 タイムスタンプ処理をおこないます。

1



メニューの [手動] をクリック

2



タイムスタンプ処理の方法を選びクリック

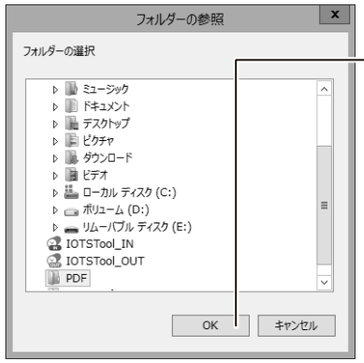
ファイルを選択	ファイル単位で処理をする場合にクリックします。
フォルダーを選択	フォルダー単位で処理をする場合にクリックします。
頭紙 PDF に複数ファイルを添付してタイムスタンプ	頭紙を選択して処理する場合にクリックします。 頭紙に添付するファイルを選択する画面が表示されますので、ファイルを選択し、［開く］をクリックします。（最大 20 ファイル）

3 ファイル（またはフォルダー）を選ぶ

※選択できるファイル数は 10 万までです。



●ファイルの場合
ファイルを選び、[開く] をクリック



●フォルダーの場合
フォルダーを選び、[OK] をクリック



処理を開始します。

※タイムスタンプ付与後のファイル名は、末尾に “_TS” が追記されたものになります。

4

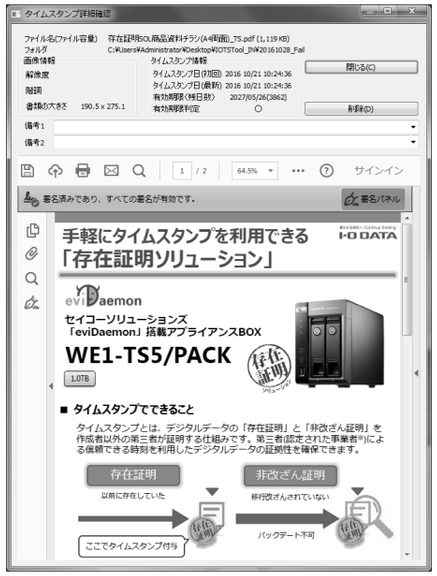


結果が表示されます。

ファイルを選択し、[タイムスタンプ詳細確認] をクリックすると、選択したファイルが表示されます。

※ファイルイメージを表示させるには、Adobe Acrobat Reader が必要です。

▼タイムスタンプ詳細確認画面



画像情報	解像度、階調、書類の大きさを表示します。 ※ファイルによっては、情報が表示されない場合があります。
タイムスタンプ情報	タイムスタンプ日、有効期限 (残日数)、有効期限判定の情報を表示します。 有効日判定は、残日数により、以下のように表示されます。
30 日以上	○
30 日未満	△
0 日	×
タイムスタンプ無し 取得できなかった	-
[閉じる] ボタン	この画面を閉じます。
[削除] ボタン	ファイルを削除します。
備考１、備考２	コメントを記入できます。

一括検証

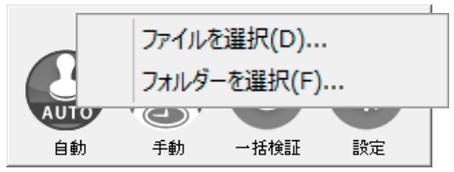
タイムスタンプを付与されたファイルの有効期限などを確認します。

1



メニューの [一括検証] をクリック

2



ファイル単位で処理をする場合は
[ファイルを選択] をクリック
フォルダー単位で処理をする場合は、
[フォルダーを選択] をクリック

3 ファイル（またはフォルダー）を選ぶ
※選択できるファイル数は 10 万までです。



●ファイルの場合
ファイルを選び、[開く] をクリック



●フォルダーの場合
フォルダーを選び、[OK] をクリック



処理を開始します。

4

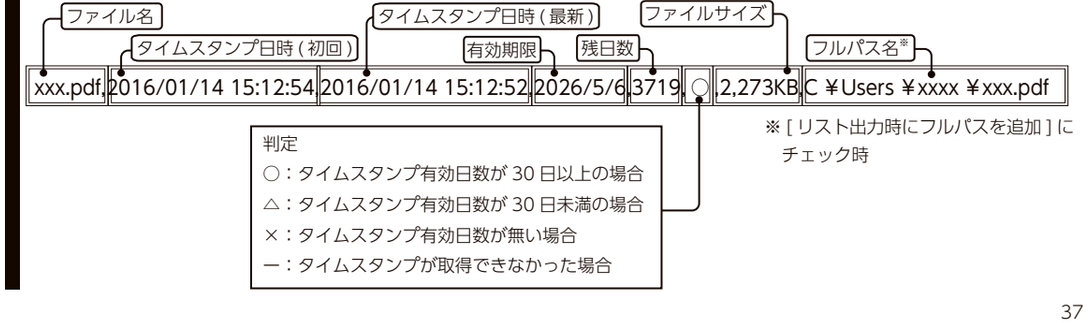


結果が表示されます。

選んだファイルのタイムスタンプ日と有効期限の残り日数を確認できます。
残日数が 30 日を切ったファイルは列が黄色で表示されます。
期限切れ / タイムスタンプが付与されていないファイルは赤色で表示されます。
※各項目 (ファイル名、タイムスタンプ日時、有効期限、残り日数、判定、ファイル容量) をクリックすると、並び替えができます。

[タイムスタンプ詳細確認] ボタン	タイムスタンプの詳細確認画面が表示されます。(35 ページページ参照)
[リスト出力] ボタン	リストの内容を CSV ファイルで出力します。 [リスト出力時にフルパスを追加] にチェックをつけると、フルパス名も追記されます。
[メディア書き込み] ボタン	チェックがついたファイルをメディアに書き込みます。 ※本製品に書き込み可能なドライブが接続されていない場合は、無効になります。
[タイムスタンプ更新] ボタン	タイムスタンプを更新するファイルにチェックをつけ、[タイムスタンプ更新] ボタンを押すと、タイムスタンプが更新されます。 更新後のファイル名は、_TS の後にタイムスタンプを付加した回数の数字となります。 例：1 回目の更新であれば “_TS1”、3 回目であれば "_TS3" と追加されます。
[閉じる] ボタン	この画面を閉じます。

リスト情報（CSV 出力時）の読み方



IOTSTool の設定

IOTSTool の設定変更ができます。



自動 / バックグラウンドタイムスタンプのフォルダー設定





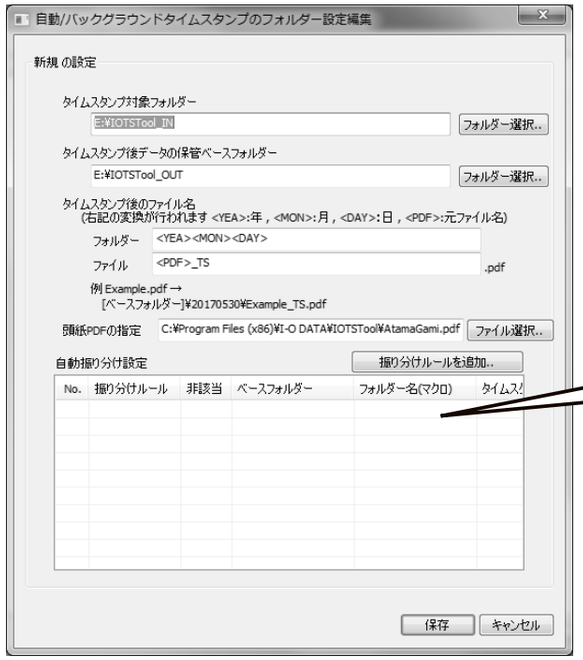
便利な使いかた

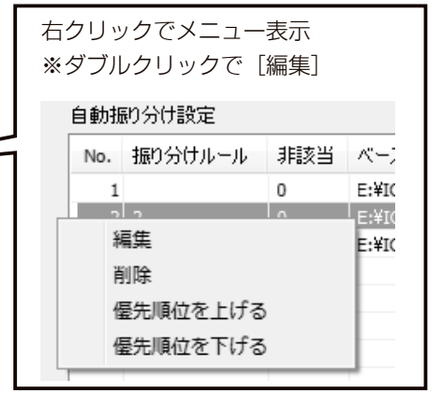
[タイムスタンプ対象フォルダー] にスキャナーの取り込み先のフォルダーを指定すると、スキャンデータにすぐにタイムスタンプが付与されます。

※富士通製スキャナ「ScanSnap」をお使いの場合、「ScanSnap Folder」以外のフォルダーを指定してください。

新規追加	タイムスタンプ対象フォルダーやタイムスタンプの振り分けなどの設定を追加します。最大 10 件まで設定できます。（【●［新規追加］】（39 ページ）参照）	
設定一覧	登録済みの設定を表示します。No. が若いほど優先順は高くなります。 設定を右クリックすると、その設定に関する各操作をおこなえます。	
	編集	設定内容を変更します。（【●［新規追加］】（39 ページ）参照）
	削除	選択した設定を削除します。
	優先順位を上げる	選択した設定の優先順位を１つ上げます。
	優先順位を下げる	選択した設定の優先順位を１つ下げます。
（No.）の設定情報詳細	各設定情報を表示します。内容については、【●［新規追加］】（39 ページ）をご覧ください。	

● ［新規追加］





タイムスタンプ対象フォルダー	タイムスタンプ時の対象フォルダーを設定します。（最大 240 文字まで） ※出荷時設定：[D:¥IOTSTool_IN]	
タイムスタンプ後データの保管ベースフォルダー	タイムスタンプ時の出力先フォルダーを設定します。（最大 240 文字まで） ※出荷時設定：[D:¥IOTSTool_OUT]	
タイムスタンプ後のファイル名	フォルダー	出荷時設定（<YEA><MON><DAY>）では、年月日のフォルダー名になります。 例：2017 年 6 月 9 日の場合、20170609
	ファイル	出荷時設定（<PDF>_TS）では、タイムスタンプを付与対象の PDF ファイルと同じファイル名に“_TS”を付加したファイル名で保存されます。
頭紙 PDF の指定	PDF 以外のファイルを処理する際の頭紙（台紙）にする PDF を指定します。	
振り分けルールを追加	タイムスタンプ後に保存するフォルダーを振り分けるためのルールを設定します。最大 10 件まで設定できます。（【●自動振り分けルールの設定編集】（40 ページ）参照）	
自動振り分け設定	登録済みの設定を表示します。No. が若いほど優先順は高くなります。 設定を右クリックすると、その設定に関する各操作をおこなえます。	
	編集	設定内容を変更します。（【●自動振り分けルールの設定編集】（40 ページ）参照）
	削除	選択した設定を削除します。
	優先順位を上げる	選択した設定の優先順位を１つ上げます。
	優先順位を下げる	選択した設定の優先順位を１つ下げます。

●自動振り分けルールの設定編集



次ページ参照

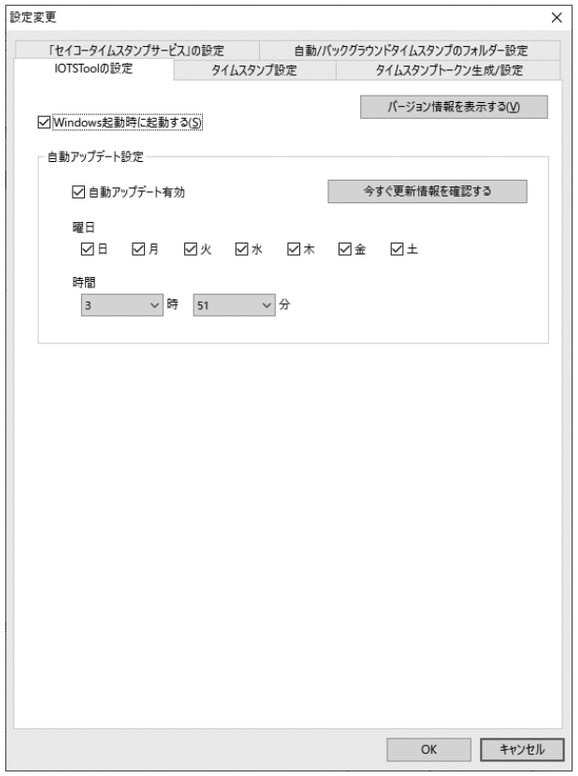
自動振り分けルール（正規表現）	ファイル名により振り分けをおこなうためのルールを設定します。 正規表現により設定できます。 例） A.* : A もしくは a から始まるファイル .*001¥.pdf : 001.pdf で終わるファイル .*¥.doc : .doc で終わるファイル [a-z].* : a から z で始まるファイル [佐藤¦鈴木].* : 佐藤または鈴木から始まるファイル	
［振り分けルールのテスト］ボタン	設定をお試し入力し、振り分けルールどおりに振り分けられるかテストします。	
振り分け先ベースフォルダー	ルールに該当したファイルが振り分けられるフォルダーを設定します。	
自動 / バックグラウンドタイムスタンプ後のファイル名	フォルダー	出荷時設定（<YEA><MON><DAY>）では、年月日のフォルダー名になります。 例：2016 年 2 月 9 日の場合、20160209
	ファイル	出荷時設定（<PDF>_TS）では、タイムスタンプを付与対象の PDF ファイルと同じファイル名に“_TS”を付加したファイル名で保存されます。
頭紙 PDF の指定	PDF 以外のファイルを処理する際の頭紙（台紙）にする PDF を指定します。	

●振り分けルールのテスト



振り分けルール	テストする振り分けルールを入力します。 ［該当しない場合に振り分けを行う］にチェックをつけると、ルール該当しないファイル名を振り分けます。
［振り分けテスト］ボタン	クリックすると、記入した振り分けルールにしたがって、どう振り分けられるかをテストします。
［確認用ファイル名リストを全クリア］ボタン	クリックすると、リストの「確認するファイル名」の内容を削除します。
［確認用ファイル名リストをリセット］ボタン	クリックすると、リストの「確認するファイル名」の内容を初期値にもどします。
確認を行うファイル名	入力したファイル名をリストの「確認するファイル名」に追加します。

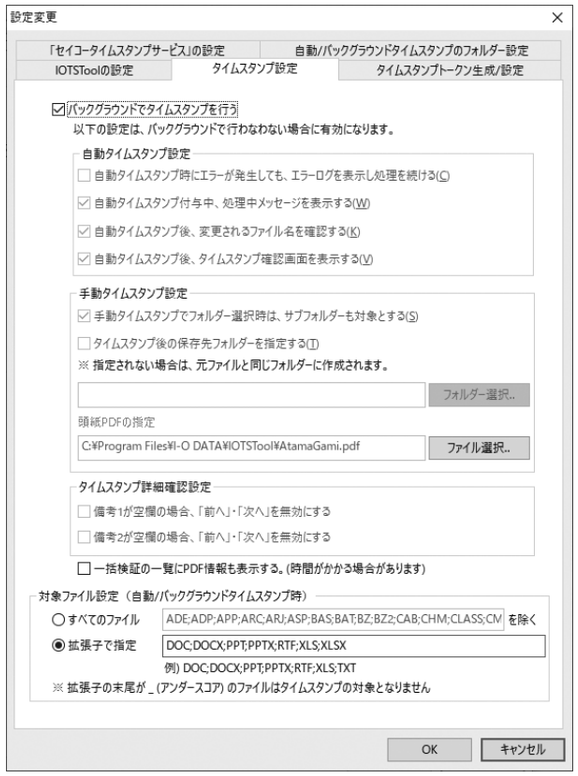
IOTSTool の設定



Windows 起動時に起動する	チェックをつけると、Windows 起動時に IOTSTool 起動します。	
バージョン情報を表示する	IOTSTool のバージョン情報を表示します。	
自動アップデート設定	自動アップデート有効	チェックをつけると、設定した曜日・時間に IOTSTool の自動アップデートをおこないます。
	今すぐ更新情報を確認する	クリックすると、更新の有無ををすぐに確認します。

※【「セイコータイムスタンプサービス」の設定】（45 ページ）で指定したプロキシで確認がおこなわれます。

タイムスタンプ設定



バックグラウンドでタイムスタンプを行う	ネットワーク越しに自動タイムスタンプを処理する場合にチェックをつけます。	
自動タイムスタンプ設定	自動タイムスタンプ時にエラーが発生しても、エラーログを表示し処理を続ける	エラーが発生しても、対象ファイルが存在する場合は、タイムスタンプ処理をおこないます。
	自動タイムスタンプ付与中、処理中メッセージを表示する	タイムスタンプ処理中メッセージを表示します。
	自動タイムスタンプ後、変更されるファイル名を確認する	[自動タイムスタンプ] 時に変更されるファイル名を確認する画面を表示します。
	自動タイムスタンプ後、タイムスタンプ確認画面を表示する	[自動タイムスタンプ] 後に確認画面を表示します。
手動タイムスタンプ設定	手動タイムスタンプでフォルダー選択時は、サブフォルダーも対象とする	[手動タイムスタンプ] 時に、選択したフォルダーのサブフォルダーも手動タイムスタンプの対象とします。
	タイムスタンプ後の保存先フォルダーを指定する	選択したフォルダーを保存先フォルダーに設定します。
	頭紙 PDF の指定	PDF 以外のファイルを処理する際の頭紙（台紙）にする PDF を指定します。
タイムスタンプ詳細確認設定	備考 1（2）が空欄の場合、「前へ」・「次へ」を無効にする	チェックをつけると、備考 1 または 2 が空欄の場合、「前へ」「次へ」ボタンが表示されません。

一括検証の一覧に PDF 情報も表示する	チェックをつけると、一括検証の際に PDF 情報を表示します。 本機能を有効にすると、一括検証に時間がかかる場合があります。	
対象ファイル設定	すべてのファイル [（規定値）] を除く※1	自動 / バックグラウンドタイムスタンプ時に、（規定値）のファイルを除くすべてのファイルを処理を有効にします。
	PDF 以外でタイムスタンプ対象とする拡張子※2	自動 / バックグラウンドタイムスタンプ時に処理を有効にするファイルの拡張子を入力します。 ";"（セミコロン）が区切り文字になります。（";" を含め最大 128 文字まで）

※ 1　出荷時設定：ADE;ADP;APP;ARC;ARJ;ASP;BAS;BAT;BZ;BZ2;CAB;CHM;CLASS;CMD;COM;COMMAND;CPL;CRT;CSH;DESKTOP;DLL;EXE;FXP;GZ;HEX;HLP;HQX;HTA;INF;INI;INS;ISP;ITS;JOB;JS;JSE;KSH;LNK;LZH;MAD;MAF;MAG;MAM;MAQ;MAR;MAS;MAT;MAU;MAV;MAW;MDA;MDB;MDE;MDT;MDW;MDZ;MSC;MSI;MSP;MST;OCX;OPS;PCD;PI;PIF;PRF;PRG;PST;RAR;REG;SCF;SCR;SCT;SEA;SHB;SHS;SIT;TAR;TAZ;TGZ;TMP;URL;VB;VBE;VBS;VSMACROS;VSS;VST;VSW;WEBLOC;WS;WSC;WSF;WSHZ;ZIP;ZLO;ZOO;JAR;PKG;TOOL;TERM

※ 2　出荷時設定：DOC;DOCX;PPT;PPTX;RTF;XLS;XLSX

「セイコータイムスタンプサービス」の設定

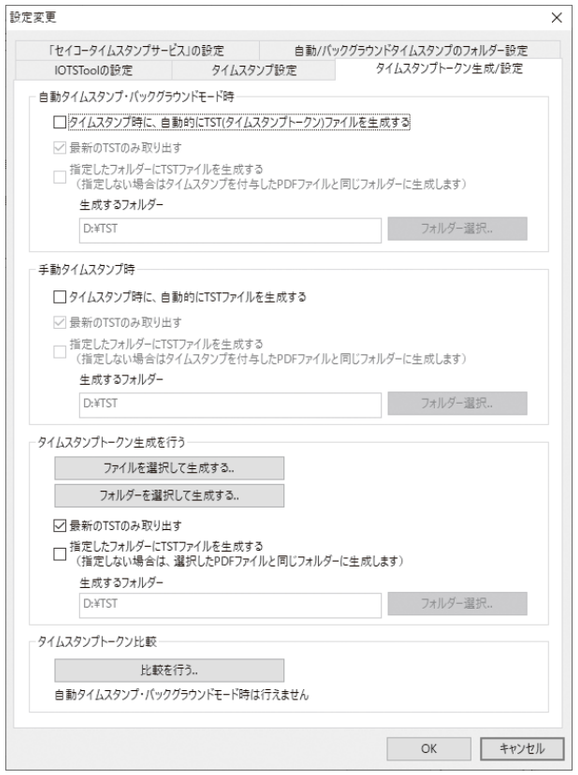


会員 ID	セイコータイムスタンプサービス会員 ID を入力します。	
会員パスワード	セイコータイムスタンプサービス会員パスワードを入力します。	
プロキシサーバー利用	タイムスタンプ付与時に使用するプロキシサーバーの設定です。 ※タイムスタンプツールの更新確認に使用するプロキシにもなります。	
	アドレス	プロキシサーバーのアドレスを入力します。（64 文字まで）
	ポート	プロキシサーバーのポートを入力します。（8 文字まで）
[アクセス確認] ボタン	クリックすると、入力された会員 ID/ 会員パスワードが正しいかを確認します。	

タイムスタンプトークン生成 / 設定

タイムスタンプトークン（TST）生成や比較のための設定をおこないます。
TST は、I（インビット）NPIT が提供する「タイムスタンプ保管サービス」でご利用いただくことが可能です。

※ INPIT タイムスタンプ保管サービスについては、独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）の Web サイトをご覧ください。
https://www.inpit.go.jp/katsuyo/tradesecret/ts.html



自動タイムスタンプ・バックグラウンドモード時	タイムスタンプ時に、自動的に TST（タイムスタンプトークン）ファイルを生成する	自動・バックグラウンドでタイムスタンプ時に、自動的に指定のフォルダーに .TST ファイルが生成されます。
	最新の TST のみ取り出す	最新の TST のみ取り出し、生成します。
	指定したフォルダーに TST ファイルを生成する	.TST ファイルの保存先を指定します。
手動タイムスタンプ時	タイムスタンプ時に、自動的に TST ファイルを生成する	手動でタイムスタンプ時に、自動的に指定のフォルダーに .TST ファイルが生成されます。
	最新の TST のみ取り出す	最新の TST のみ取り出し、生成します。
	指定したフォルダーに TST ファイルを生成する	.TST ファイルの保存先を指定します。
タイムスタンプトークン生成を行う	ファイルを選択して生成する	指定ファイルの .TST ファイルを生成します。
	フォルダーを選択して生成する	指定フォルダー内のタイムスタンプ付与済みファイルに対し、.TST ファイルを生成します。
	最新の TST のみ取り出す	最新の TST のみ取り出し、生成します。
	指定したフォルダーに TST ファイルを生成する	.TST ファイルの保存先を指定します。
タイムスタンプトークン比較	比較を行う	TST が埋め込まれた PDF ファイルと、.TST ファイルの比較をします。以下の【比較を行う】をご覧ください。

タイムスタンプトークン（TST ファイル）の仕様
バイナリ形式で、対象の PDF に含まれるファイルです。
●ファイル名規則
<PDF ファイル名 (拡張子含む)>.[n].tst　※［n］は数値（1.2.3…）
▼最新タイムスタンプ
<PDF ファイル名 (拡張子含む)>.latest.tst
例：対象の PDF ファイル名が「sample.pdf」で、2 度タイムスタンプを押した場合、以下の 3 つのファイルが出力されます。
sample.pdf.1.tst　sample.pdf.2.tst　sample.pdf.latest.tst

※最新のタイムスタンプトークンは、「sample.pdf.2.tst」で、「sample.pdf.latest.tst」は「sample.pdf.2.tst」をコピーしたものです。また、タイムスタンプが 1 つしかない場合は、「sample.pdf.latest.tst」のみを出力します。
※［最新の TST のみ取り出す］にチェックが付いている場合は、「sample.pdf.latest.tst」のみを出力します。

●比較を行う



①複数ファイルを比較する場合は、［フォルダーで選択する］をチェック

②タイムスタンプ付加済み PDF ファイルを選ぶ
※［フォルダーで選択する］にチェックした場合、タイムスタンプ付加済み PDF ファイルが保存されたフォルダーを選ぶ

③比較する TST ファイルを選ぶ
※［フォルダーで選択する］にチェックした場合、TST ファイルが保存されたフォルダーを選ぶ

④［比較］をクリック

比較結果が表示されます。

［結果を CSV 出力］について
クリックすると、比較結果を CSV ファイルで出力します。

その他の設定

機能について詳しくはヘルプをご覧ください
本書に記載のない機能など詳しくは、[スタート] → [ヘルプとサポート] をご覧ください。

パスワード変更

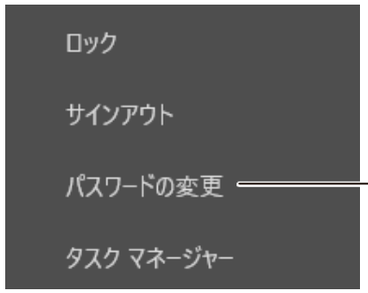
セキュリティのため、管理者パスワードは出荷時設定から変更することをおすすめします。

1 Administorator でログオンする

2 ●リモートデスクトップ接続の場合
キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[End] キーを押す

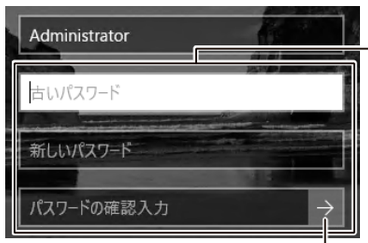
●本製品にキーボード等を接続しているの場合
キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押す

3



[パスワードの変更] をクリック

4



①パスワードを設定

出荷時設定
出荷時のパスワードは「admin」です。
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します。

② [→] をクリック

以上で、設定は完了です。

IP アドレス設定

1 画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックして表示されたメニューの［コントロールパネル］をクリック

2 ［ネットワークとインターネット］→［ネットワークと共有センター］をクリック

3



[アダプターの設定の変更] をクリック

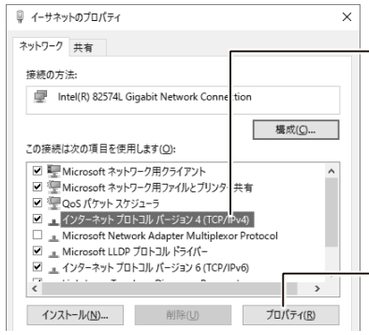
4



①設定する LAN アダプターを右クリック

② [プロパティ] をクリック

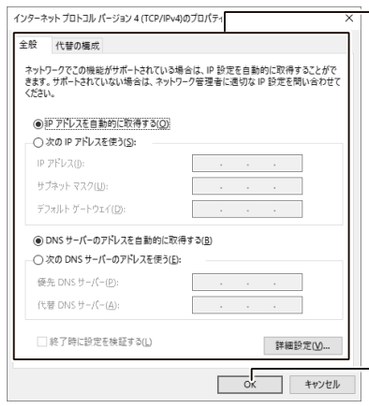
5



① [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選ぶ

② [プロパティ] をクリック

6



① IP アドレスを設定

② [OK] をクリック

以上で、設定は完了です。

メール設定

添付ソフトの「ZWS Manager」で設定します。
※「ZWS Manager」については、【ZWS manager について】（51 ページ）をご覧ください。

1 タスクトレイのアイコンから [ZWS Manager] を起動する

2



[メール設定] をクリック

3



① [有効] を選ぶ
②設定する
※以下の【メール設定項目】をご覧ください。

③ [設定] をクリック

メール設定項目

SMTP サーバー	SMTP サーバーを入力します。
SMTP サーバーポート番号	SMTP サーバーポート番号を入力します。
メール差出人アドレス	差出人として表示するメールアドレスを入力します。
認証方式	認証方式を選択します。
認証 POP サーバー名	選択した [認証方式] に応じた認証 POP サーバー名を入力します。
ユーザー名	選択した [認証方式] に応じたユーザー名を入力します。
パスワード	選択した [認証方式] に応じたパスワードを入力します。
メール送信先アドレス	送信先のメールアドレスを入力します。 複数のアドレスを設定したい場合はセミコロン “ ; ” で区切ってください。 (最大 255 文字)
エンコード	エンコード方式を [ISO-2022-JP] か [UTF-8] から選択します。

以上で、設定は完了です。

Func ボタン設定

「ZWS Manager」で設定します。
※「ZWS Manager」については、【ZWS manager について】（51 ページ）をご覧ください。

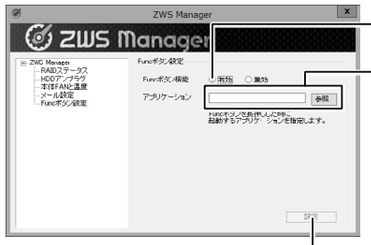
1 タスクトレイのアイコンから [ZWS Manager] を起動する

2



[Func ボタン設定] をクリック

3



① [有効] を選ぶ
②設定する
※ Func ボタンに登録できるアプリケーションは、管理者権限を必要としないコマンドラインプログラムのみとなります。
また、実行時に管理者権限を必要とする処理（フォルダーへのアクセス等）をおこなうプログラムも正常に動作しません。

③ [設定] をクリック

以上で、設定は完了です。

ZWS manager について
ZWS Manager は本製品の RAID 管理、温度管理、その他設定を行う管理ソフトです。
ZWS Manager は本製品の起動と同時に自動的に起動します。
初期状態はタスクトレイ上に表示されています。
詳しくは ZWS Manager ヘルプをご覧ください。
https://www.iodata.jp/lib/manual/zwsmanager/index.html

故障時の対応

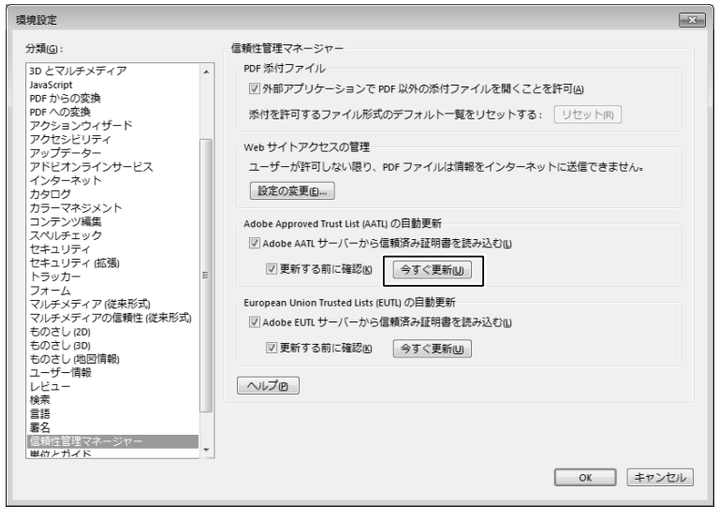
困ったときには

タイムスタンプの確認（検証）に失敗する

①ご利用のパソコンがインターネットに接続されていることを確認してください。

②最新の Adobe Acrobat Reader であることをご確認ください。

③ Adobe Acrobat Reader の [編集] → [環境設定] をクリックし、[信頼性管理マネージャー] の［Adobe Approves Trust List（AATL）の自動更新］内の［今すぐ更新］をクリックしてください。



①～③の操作をおこなった後、いったん Adobe Acrobat Reader を閉じて、再度お試しください。

故障と思ったら…

故障した HDD ランプは赤点灯します。

▼故障の状態と対処

その他の状態については、【ランプの状態】（56 ページ）をご覧ください。

STATUS	HDD	ブザー※	動作内容	対処
赤点滅	該当 HDD（SSD）赤点灯	ピッピッ、ピッピッ …	デグレード発生時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、修理をご依頼ください。
赤点滅	全 HDD（SSD）赤点灯	ピーポー、ピーポー …	RAID 崩壊時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。ボリュームに対してチェックディスクを実行し、ファイルシステムに問題がないことを確認してください。ログ・メールより構成ディスクにエラーがある場合は、修理をご依頼ください。ボリュームにアクセスできなくなった場合は、ボリュームを再構築してください。

※ RAID に変化があったときにブザーが鳴ります。
ブザーが鳴った場合、Func ボタンを押すか、ZWS Manager で [ブザー OFF] をクリックするとブザーが停止します。

ご注意

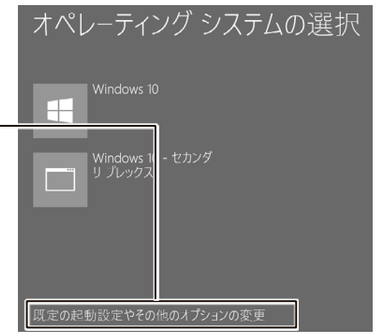
● RAID 崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

起動ドライブ（HDD1）が故障した場合

起動ドライブ（HDD1）が故障した場合は、起動時にエラー画面が表示されます。
出荷時設定の RAID 1 で使用している場合は、HDD 2から起動できます。
以下の手順で既定のオペレーティングシステムを選択してください。

①表示されたエラー画面で［F9］キーを押す
②「オペレーティングシステムの選択」画面で、
［既定の起動設定やその他のオプションの変更］をクリック
③［既定のオペレーティングシステムの選択］をクリック
④［Windows 10 - セカンダリ プレックス］をクリック

以上で、HDD2 からの起動が既定になりました。
［Windows 10 - セカンダリ プレックス］から起動し、
故障ディスクの交換、再構築をおこなってください。



故障の場合は…

別紙【オンサイト保守パックのご利用案内】をご確認いただき、ISS にお問い合わせください。

システムリカバリーする

ご注意

- ●システムリカバリーをおこなうと、選択したモードによっては、本製品のシステムドライブ（C:）およびデータ領域は完全に出荷時の状態に戻ります。保存されていたデータや、設定情報はすべて失われますので、必ず事前にバックアップしてください。
- ●システムリカバリー後、システム領域および選択したモードによってはデータ領域の再構築がおこなわれます。
- ●システムリカバリーは、必ずすべてのカートリッジが取り付けられた状態でおこなってください。

ステップ 1　準備する

1 次の機材を用意する
ディスプレイ、USB キーボード、USB 接続の DVD ドライブ（USB 2.0 対応のもの）、本製品添付のリカバリーメディア

2 本製品の HDMI コネクターにディスプレイをつなぐ

3 本製品の USB ポートに USB キーボードをつなぐ

4 本製品の USB ポートに USB 接続の DVD ドライブを接続します。
※上記以外の機器は接続しないでください。

次ページの【ステップ2】へお進みください。

システムリカバリーする

ステップ 2　リカバリーを実行する

1 DVD ドライブにリカバリーメディアをセットし、本製品の電源を入れる
リカバリープログラムが起動し、使用許諾が表示されます。
※「Press any key to boot from CD or DVD....」と表示された場合は、キーボードのキーを押してください。

リカバリープログラムが起動しない場合

● BIOS 設定の変更が必要な場合があります。
以下の手順で BIOS 設定を変更してください。
①本製品の電源投入直後より、[F2] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する
②カーソルキーで [起動] を選ぶ
③カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す
④ [UEFI USB CD/DVD:UEFI: xxxx] を選び、Enter キーを押す
（xxxx は DVD ドライブのメーカー名とモデル名 ）
※ USB ドライブの起動優先順位を最も高く設定します。
⑤変更を保存して終了する
以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

2 キーボードの 1 を入力し [Enter] キーを押す
（「1 - RAID モードでリカバリー」を選択します。）

3 「本当にリカバリーを実行してよろしいですか？ (yes/no)」で、[yes] と入力して、[Enter] キーを押す
リカバリーが開始されます。システムのリカバリーには 15 分～ 30 分程度必要です。

「リカバリーが正常に完了しました。リカバリーメディアを抜いてください。
何かキーを押すと再起動します。」と表示されたら、システムリカバリーは完了です。
リカバリーメディアを本製品から取り外し、何かキーを押します。
再起動後、システム領域にリビルドが行われます。
※リビルド中は本製品の操作・動作が遅くなります。

以上でリカバリーは完了です。

ご注意

- ● Windows の初期化作業のため、起動するまでに何度か自動的に再起動します。

資料

タイムスタンプ仕様

利用タイムスタンプ	セイコータイムスタンプサービス　Accredited Type A2
利用電子署名	PDF 長期署名（PAdES）
有効期間	10 年（タイムスタンプ押印有効期間は 5 年） ※ただし、有効期限は年 1 回更新
電子署名可能なファイル	PDF ※本製品では、PDF 以外のファイルは PDF 頭紙（台紙）の添付ファイルとして扱われます。 1 つの PDF に添付できるファイル数は 20 個まで、1 ファイルの容量は 200MB まで、トータルの容量は 200MB までです。

出荷時設定

コンピューター名	APX-TSFI
ワークグループ名	WORKGROUP
IP アドレス	自動取得
DNS サーバーアドレス	自動取得
RAID 状態	RAID 1

ランプの状態

カテゴリ	STATUS	HDD	ブザー※1	動作内容	対処
通常稼動時	緑点灯	緑点灯	なし	ー	ー
RAID 再構築	緑点滅	緑点滅	ピロッ	RAID 再構築中のとき	RAID を再構築中です。再構築が完了するまで HDD の抜き差しを行わないでください。
エラー	赤点滅	該当 HDD 赤点灯	ピッピッ、ピッピッ…	デグレード発生時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
	赤点滅	全 HDD 赤点灯	ピーポー、ピーポー…	RAID 崩壊時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。ボリュームに対してチェックディスクを実行し、ファイルシステムに問題がないことを確認してください。ログ・メールより構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。ボリュームにアクセスできなくなった場合は、ボリュームを再構築してください。
	赤点灯	全 HDD 赤点灯	なし	起動 HDD がない時	起動 HDD が接続されていません。HDD が正常に接続されていることを確認してください。
	赤点灯	緑点灯	なし	温度異常の時	設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認してください。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼動していることを確認してください。

※ 1　RAID 状態に変化があったときにブザーが鳴ります。ブザー音が鳴った場合、[Func.] ボタンを押す、または、「ZWS Manager」上で [ブザー OFF] をクリックするとブザーが停止します。

ログ、メール一覧

ログ・メール内容	メールタイトル	概要	対処
内蔵スロット x のディスクにエラーが検出されました。 システムを再起動しても再度エラーが検出される場合は、ディスクに致命的なエラーが発生している可能性があるため、至急交換してください。 (x は、1 ～ 2)	ディスクエラー	内蔵スロット x のディスクが「エラー」状態になった。 (x は、1 ～ 2)	至急システムボリュームおよびデータボリュームのバックアップを取ってください。 システムボリュームおよびデータボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 システムを再起動可能な場合は、再起動を行ってエラーが消えるか確認してください。 内蔵スロット x のディスクを交換してください。 ZWS Manager からアンプラグできない場合は、システムの電源を切ってから交換してください。(x は、1 ～ 2)
システムボリューム上にエラーが検出されました。	ボリュームエラー	システムボリュームの状態が「失敗」となった。 システムボリュームの情報が「危険」となった。	至急システムボリュームのバックアップを取ってください。 システムボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 システムが起動不能となった場合は、システムのリストアを行ってください。
データボリューム上にエラーが検出されました。	ボリュームエラー	システムボリュームの状態が「失敗」となった。 システムボリュームの情報が「危険」となった。	至急データボリュームのバックアップを取ってください。 データボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 データボリュームにアクセスできなくなった場合は、データボリュームを再構築してください。
システムボリュームの冗長性が失われています。	ボリュームエラー	システムボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。	至急システムボリュームのバックアップを取ってください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
データボリュームの冗長性が失われています。	ボリュームエラー	データボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。	至急データボリュームのバックアップを取ってください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
システムボリュームの再構築が開始されました。	ボリューム情報	システムボリュームの状態が「再構築中」となった	システムボリュームの状況を確認してください。
データボリュームの再構築が開始されました。	ボリューム情報	データボリュームの状態が「再構築中」となった。	データボリュームの状況を確認してください。
システムボリュームの再構築が完了しました。	ボリューム情報	システムボリュームの状態が (「正常」以外の状態から)「正常」となった。	システムボリュームの状況を確認してください。
データボリュームの再構築が完了しました。	ボリューム情報	データボリュームの状態が (「正常」以外の状態から)「正常」となった。	データボリュームの状況を確認してください。
ZWS RAID Manager で管理できない状態です。	(メールなし)	内蔵ディスク上にボリュームが 3 個以上存在する。	内蔵ディスク上にシステムボリュームと、データボリュームが 1 個だけ存在する状態にしてください。
本体内部の温度が仕様範囲を超えたため本体をシャットダウンしました。	温度異常	システム温度が仕様範囲を超えた。	設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認して下さい。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼動していることを確認してください。
Func ボタンが押され登録されているコマンド xxx が実行されました。(ｘｘｘは登録したコマンド)	(メールなし)	Func. ボタンが有効で、Func. ボタンが押された。	Func ボタン機能が有効の場合は、Func . ボタンを 3 秒以上押すと登録したコマンドが実行されますので、登録されたコマンドが実行されたことを確認してください。

IOTSTool ログ一覧

ID	イベントログ内容	NarSuS 通知内容
1	IOTSTool を開始しました。	なし
2	IOTSTool を終了しました。	なし
129	自動タイムスタンプ対象フォルダに入力されたファイル **ファイル名** のサイズが大きすぎるため、タイムスタンプ付与できませんでした。ファイルは **ファイル名** として保存しました。	【IOTSTool】タイムスタンプ付与不可 - 自動タイムスタンプ対象フォルダ内ファイルサイズ超過
130	タイムスタンプ処理でエラーが発生しました。 **ファイル名** 処理対象ファイルを **ファイル名** として保存しました。	【IOTSTool】タイムスタンプ処理エラー
257	手動タイムスタンプ対象ファイル **ファイル名** のサイズが大きすぎるため、タイムスタンプ付与できませんでした。	【IOTSTool】タイムスタンプ付与不可 - 手動タイムスタンプ対象ファイルサイズ超過
258	頭紙ファイルが設定されていないため、 **ファイル名** にタイムスタンプ付与できませんでした。頭紙ファイルを設定してください	【IOTSTool】タイムスタンプ付与不可 - 頭紙ファイル設定不備
259	設定されている頭紙ファイルが見つからないため、 **ファイル名** にタイムスタンプ付与できませんでした。頭紙ファイルを設定しなおしてください	【IOTSTool】タイムスタンプ付与不可 - 頭紙ファイル不明
260	頭紙ファイルへの添付が正常に行えなかったため、 **ファイル名** にタイムスタンプ付与できませんでした。	【IOTSTool】タイムスタンプ付与不可 - 頭紙ファイル添付不正
1025	タイムスタンプコマンドが正常に発行できませんでした。JAVA 環境を確認してください。	【IOTSTool】タイムスタンプコマンド発行不可 -JAVA 環境確認
1026	eviDaemon にアクセスできませんでした。 「かんたんタイムスタンプ」は、利用できません。 ・ID、および、パスワードを確認してください。 ・インターネットに接続可能な環境であることを、確認してください。	【IOTSTool】eviDaemon アクセス不可
1027	エラー：タイムスタンプコマンドが正常に発行できませんでした。 **エラー内容**	【IOTSTool】タイムスタンプコマンド発行不可
2257	IOTSService を開始しました。	【IOTSTool】タイムスタンプサービスプログラムを開始しました。
2258	IOTSService を終了しました。	【IOTSTool】タイムスタンプサービスプログラムを終了しました。
3025	アップデータのダウンロードが正常に行えませんでした。	【IOTSTool】アップデータのダウンロードが行えませんでした。
3026	ダウンロードしたアップデータに異常があるためアップデートインストールできませんでした。	【IOTSTool】アップデータのダウンロードに失敗しました。
3027	アップデータの情報が取得できなかったため、インストールされている IOTSTool が最新版か確認できませんでした。	【IOTSTool】アップデータの情報が取得できませんでした。
3028	アップデータの情報が取得できなかったため、インストールされている IOTSTool が最新版か確認できませんでした。 **エラーコード**	【IOTSTool】アップデータの情報が取得できませんでした。
3030	IOTStool のアップデートインストールを開始しました。	【IOTSTool】アップデートインストールを開始しました。
3032	新しいバージョンの IOTSTool が見つかりました。	【IOTSTool】新しいバージョンが見つかりました。
3033	IOTSTool の最新バージョンがインストールされています。	【IOTSTool】最新バージョンがインストールされています。
4097	エラー：自動／バックグラウンドタイムスタンプ処理が正常に行えませんでした。自動／バックグラウンドタイムスタンプの対象フォルダーの Fail フォルダーを、ご確認ください。タイムスタンプ処理が完了しましたら Fail フォルダーを削除してください。	【IOTSTool】自動／バックグラウンドタイムスタンプ処理が正常に行えませんでした。対象フォルダーの Fail フォルダーを、ご確認ください。エラー内容はイベントログをご覧ください。タイムスタンプ処理が完了しましたら Fail フォルダーを削除してください。
4098	情報：自動／バックグラウンドタイムスタンプ対象フォルダーの Fail フォルダーは削除されました。	【IOTSTool】自動／バックグラウンドタイムスタンプ対象フォルダーの Fail フォルダーは削除されました。

IOTSTool のログは、Windows のイベントビューアーに記録されます

イベントビューアーは、［スタート］→［Windows 管理ツール］から起動できます。
［Windows ログ］の［アプリケーション］に、ソースが IOTSTool でログが記録されます。

対応ソフトウェア

本製品では、次のソフトウェアが利用できます。

データコピー for Windows	NAS のリプレイス時などに古い NAS から LAN DISK Z シリーズにデータをコピーできるデータコピーツールです。 古い LAN DISK Z シリーズからのコピーはもちろん、Linux 系 OS を搭載した当社オリジナル OS モデルや他社製 NAS からもスムーズに新しい LAN DISK Z シリーズへコピーできます。 また、スケジュール設定やコピー元の ACL 情報のコピーにも対応しています。詳しくは次のサイトをご覧ください。 **https://www.iodata.jp/product/app/nas/datacopy-for-windows/index.htm**
クローン for Windows	２台の NAS の共有フォルダーを定期的に同期させ、NAS の故障からの復旧時間を大幅に短縮させるバックアップソフトです。 万一、メイン機が故障した場合でも、バックアップ機に切り替えるだけですぐに運用を再開することができます。 また、古くなった Windows Server 2003 搭載サーバーから新しい NAS にデータを移行する場合も利用できます。 詳しくは次のサイトをご覧ください。 **https://www.iodata.jp/biz/cloneforwindows/**

各ソフトウェアのご利用方法

本製品を起動し、デスクトップ上の［I-O DATA］フォルダーを開き、保存されている各ソフトウェアアイコンをダブルクリックします。



・クローン for Windows は、インストーラーが起動します。
　画面の指示にしたがってください。
・データコピー for Windows は、インストール不要です。

※詳しくは、ソフトウェアの「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
※ソフトウェアのファイルを消してしまった場合は、【対応ソフトウェアのダウンロード方法】（60 ページ）をご覧ください。

対応ソフトウェアのダウンロード方法

1 以下の Web ページにアクセスする
https://ioportal.iodata.jp/

ソフトウェアをダウンロードするため、ユーザー登録してください
ユーザー登録後、本製品のシリアル番号を登録することで、ソフトウェアをダウンロードできます。

2



IOPortal へログイン

はじめて登録する場合
[新規会員登録へ] をクリックし、画面の指示にしたがってください。

3



[製品を登録する] をクリック

4



①本製品のシリアル番号を入力

②［製品を登録する］をクリック

5



内容を確認して、
[製品を登録する] をクリック

6



[登録製品の一覧へ戻る] をクリック

7



目的のソフトウェアの
[ダウンロード] をクリック

8



ここで画面で見るマニュアルがダウンロードできます。

お使いの OS をクリック

9



[ダウンロード] をクリック

これでソフトウェアのダウンロードは完了です。

ハードウェア仕様

搭載 OS		Windows 10 IoT Enterprise 2016 LTSB
カートリッジ		2 スロット対応（SATA 接続）
メモリ容量		8GB
RAID		RAID 0/1
CPU		Intel Core i3 Processor 3.30GHz(Dual Core)
LAN	転送規格	IEEE 802.3ab、IEEE802.3u、IEEE802.3 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)
	最大転送速度	1000/100/10Mbps
	コネクター	RJ-45 × 2
	アクセス方法	CSMA/CD
	MDI/MDI-X	自動切換
	適合ケーブル	UTP カテゴリー 5e 以上、100m 以下
USB ホスト	転送規格	USB 2.0(1.1 含む) / USB 3.0
	最大転送速度	480Mbps / 5Gbps
	コネクター	USB 2.0 用 A コネクター× 4 USB 3.0 用 A コネクター× 1
電源仕様	定格電圧	DC12V
	消費電力 (電流)	6A
動作環境	使用温湿度	0 ～ 40℃　20 ～ 80%（結露なきこと）
物理仕様	外形寸法 (突起部含まず)	102(H)x216(W)x154(H)mm
	質量	約 2.7kg

アフターサービス

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせについて

1 お問い合わせいただく前に以下をご確認ください

▶ https://www.iodata.jp/support/

① 「Q&A よくあるご質問」を参照

② 最新のソフトウェアをダウンロード

2 それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話 ▶ **050-3116-3025**

受付時間 9：00～17：00 月～金曜日

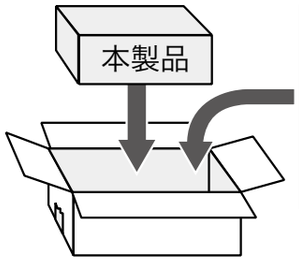
（祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく）

メール ▶ **https://www.iodata.jp/support/after/esupp.htm**

修理について

保証期間**5**年間

以下を梱包し、修理センターへお送りください



レシート、納品書など
購入日を示すもの
または保証書

＋

メモ
・名前 ・住所
・TEL / FAX番号
・メールアドレス・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

※厳重に梱包してください。
　弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。



【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号（S/N）はお手元に控えておいてください。
【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください（修理依頼書はここから印刷できます）。

▶ https://www.iodata.jp/support/after/

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項

WINDOWS 10 IOT ENTERPRISE（すべてのエディション）　　**最終更新日 [2016 年 4 月]**

お客様の居住地（またはお客様の会社の主たる業務地）が米国内である場合、第 9 条に記載されている拘束力のある仲裁と集団訴訟の権利放棄について内容を注意深くお読みください。第 9 条は、紛争を解決する方法に影響を及ぼします。

マイクロソフトをお選びいただきありがとうございます。

お客様が本 Windows ソフトウェアを取得された方法に応じて、本文は、(i) お客様のデバイスと共に本ソフトウェアを頒布するデバイス製造業者またはソフトウェア インストール業者とお客様の間で、または (ii) お客様が本ソフトウェアを小売業者から取得された場合は、お客様と Microsoft Corporation（またはお客様の所在地もしくは会社の場合は主たる業務地に応じたその関連会社。以下、「マイクロソフト」といいます）の間で、締結されるライセンス契約書です。マイクロソフトは、マイクロソフトまたはそのいずれかの関連会社が生産したデバイスのデバイス製造業者であり、お客様が本ソフトウェアをマイクロソフトから直接取得された場合は小売業者となります。

本ライセンス条項には、本 Windows ソフトウェアを使用するお客様の権利および条件を規定しています。すべての条項が重要であり、一体となってお客様に適用される本ライセンス条項を形成するため、本ソフトウェアに付属する、印刷されたライセンス条項およびリンク先の条項を含む本ライセンス条項全文を確認してください。お客様は、ブラウザー ウィンドウに (aka.ms/) リンクを貼り付けることで、リンク先の条項を確認できます。

お客様は、本ライセンス条項に同意するか、または本ソフトウェアを使用することにより、これらすべての条項に同意し、ライセンス認証中およびお客様が本ソフトウェアを使用する際に第 3 条に記載されているプライバシーに関する声明に従って特定の情報が送信されることに同意するものとします。お客様がこれらの条項に同意せず、またこれらの条項を遵守しない場合、本ソフトウェアまたはその機能を使用することはできません。この場合、デバイス製造業者もしくはインストール業者に、または本ソフトウェアを直接購入された場合はご利用の小売業者に、問い合わせて、返品方針を確認してください。この方針に基づいて本ソフトウェアまたはデバイスを返品し、お支払いいただいた金額の払い戻しを受けられる場合があります。お客様は、この方針に従わなければなりません。この方針により、お客様は、払い戻しを受けるために本ソフトウェアと共に、本ソフトウェアがインストールされているデバイス全体を返品することが求められる場合があります。

1. 概要
   a. 適用対象。本ライセンス条項は、お客様のデバイスにプレインストールされている、または小売業者から取得してお客様がインストールした本 Windows ソフトウェア、お客様が本ソフトウェアを受領したときのメディア (存在する場合)、本ソフトウェアに含まれるフォント、アイコン、画像、または音声ファイル、および本ソフトウェアに対するマイクロソフトの更新プログラム、アップグレード、追加ソフトウェア、またはサービスに適用されます。ただし、これらにその他の条項が付属している場合は、その限りではありません。マイクロソフトが開発し、Windows に含まれてその一部となっている機能 (メール、カレンダー、連絡先、ニュースなど) を提供する Windows アプリケーションにも適用されます。本ライセンス条項にお客様のデバイスで利用できない機能またはサービスに関する条項が含まれている場合、当該条項は適用されません。
   b. 追加条項。お客様のデバイスの機能、構成内容、および使用方法に応じて、お客様による特定の機能、サービス、およびアプリケーションの使用にマイクロソフトおよび第三者の追加条項が適用される場合があります。
   (i) 一部の Windows アプリケーションは、オンライン サービスへのアクセス ポイントを提供するか、オンライン サービスに依存しています。そのため、これらのサービスの利用には、(aka.ms/msa) に掲載されている Microsoft サービス規約などの別途の条項およびプライバシー ポリシーが適用される場合があります。お客様は、これらの条項およびポリシーを、サービス使用条件またはアプリケーションの設定 (該当する場合) を参照することで確認できます。注意してお読みください。これらのサービスを利用できない地域がある場合もあります。
   (ii) 製造業者またはインストール業者は、アプリケーションをプレインストールすることもできます。かかるアプリケーションには、別途のライセンス条項が適用されます。
   (iii) 本ソフトウェアには、Adobe Flash Player などの、第三者独自の条項に基づいて使用許諾される第三者のソフトウェアが含まれていることがあります。お客様は、お客様による Adobe Flash Player の使用には、(aka.ms/adobeflash) で確認できる、Adobe Systems Incorporated のライセンス条項が適用されることに同意します。Adobe および Flash は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
   (iv) 本ソフトウェアには、本ライセンス条項に基づいて、第三者からではなく、マイクロソフトからお客様にライセンスされる第三者のプログラムが含まれていることがあります。第三者のプログラムの注意事項がある場合は、お客様への参考情報としてのみ含まれます。
2. インストールおよび使用権
   a. ライセンス。本ソフトウェアは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本ライセンス条項に基づいて、マイクロソフトは、一度に 1 人のユーザーが使用することを目的として、お客様のデバイス (ライセンスを取得したデバイス) に 1 つのインスタンスをインストールして実行する権利を許諾します。ただし、お客様が本ライセンス条項のすべての条項を遵守することを条件とします。マイクロソフトまたは正規の提供元から取得した本ソフトウェアを使用して非正規のソフトウェアを更新またはアップグレードしても、元のバージョンまたは更新もしくはアップグレード後のバージョンは正規のソフトウェアにはならず、この場合、お客様は本ソフトウェアを使用するライセンスを取得していないことになります。
   b. デバイス。本ライセンス条項では、「デバイス」とは、内部記憶装置を搭載して本ソフトウェアを実行することのできる物理的ハードウェア システムを意味します。ハードウェアのパーティションまたはブレードはデバイスと見なされます。
   c. 制限。製造業者またはインストール業者、およびマイクロソフトは、本ライセンス条項において明示的に許諾されていない権利 (知的財産に関する法律に基づく権利など) をすべて留保します。たとえば、このライセンスは、次の行為に関してお客様にいかなる権利も与えるものではなく、お客様は次の行為を行うことはできません。
   (i) 本ソフトウェアの機能を分離して使用または仮想化すること。
   (ii) 本ソフトウェアを公開、複製 (許可されているバックアップ用の複製を除きます)、レンタル、リース、または貸与すること。
   (iii) 本ソフトウェアを譲渡すること (本ライセンス条項で許諾されている場合を除きます)。
   (iv) 本ソフトウェアの技術的な制限を回避すること。
   (v) 本ソフトウェアをサーバー ソフトウェアとして使用することもしくは商業的ホスティング用に使用すること、本ソフトウェアをネットワークを介して複数のユーザーが同時に使用できるようにすること、本ソフトウェアをサーバーにインストールしてユーザーがリモート アクセスできるようにすること、または本ソフトウェアをリモート ユーザーのみが使用する目的でデバイスにインストールすること。
   (vi) 本ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、もしくは逆アセンブルすること、またはこれらの行為を試みること。ただし、お客様の居住地 (または会社の場合は主たる業務地) の法令において、禁止の合意にもかかわらずこれらの行為が許可されている場合のみ、この制限に関係なく、このような行為も法の範囲で許可されます。
   (vii) インターネット ベースの機能を使用している場合、第三者によるこれらの機能の使用を妨げる可能性のある方法で、またはサービス、データ、アカウント、もしくはネットワークに不正な方法でアクセスを試みるために、これらの機能を使用すること。
   d. 複数使用のシナリオ。
   (i) 複数のバージョン。複数のバージョン (例: 32 ビット版と 64 ビット版) が提供される本ソフトウェアを取得した場合、お客様が同時にインストールしてライセンス認証できるのはそのいずれか 1 つのバージョンのみです。
   (ii) 複数接続またはプールされた接続。マルチプレキシングもしくは接続をプールするために、または本ソフトウェアにアクセスもしくはこれを使用するデバイスもしくはユーザーの数を減らすためにハードウェアもしくはソフトウェアを使用しても、お客様に必要なライセンスの数が減ることはありません。お客様は、使用している本ソフトウェアのインスタンスすべてのライセンスを取得している場合にのみ、これらのハードウェアまたはソフトウェアを使用できます。
   (iii) デバイスの接続。お客様は、ライセンスを取得したデバイスでファイル サービス、印刷サービス、インターネット インフォメーション サービス、インターネット接続の共有およびテレフォニー サービスを利用することを目的として、ライセンスを取得したデバイスにインストールされた本ソフトウェアに対し、最大 20 台の他のデバイスからの接続を許可することができます。上記の 20 台という接続数制限は、「マルチプレキシング」または接続数をプールするその他のソフトウェアもしくはハードウェアを介して本ソフトウェアに間接的にアクセスするデバイスにも適用されます。お客様は、任意の数のデバイスに、デバイス間でデータを同期するために、ライセンスを取得したデバイス上の本ソフトウェアにアクセスすることを許可することができます。ただし、本項は、お客様がこれらの他のデバイスに本ソフトウェアをインストールしたり、本ソフトウェアの主要な機能 (本項に記載する機能を除きます) を当該デバイス上で使用したりする権利を有することを意味するものではありません。
   (iv) リモート アクセス。ユーザーは、リモート アクセス テクノロジを使用して他のデバイスから、ライセンスを取得したデバイスにアクセスできますが、

当該他のデバイスにおいて本ソフトウェアと同等以上のエディションを実行するライセンスが別途取得されている場合に限ります。

(v) リモート アシスタンス。お客様は、リモート アシスタンス テクノロジを使用して、本ソフトウェアの追加ライセンスを取得せずに、アクティブなセッションを共有できます。リモート アシスタンスを使用すると、通常は問題を修正するために、あるユーザーが別のユーザーのコンピューターに直接接続することができます。

(vi) 特定用途。製造業者は、ライセンスを取得したデバイスを特定用途向けに設計しました。お客様は、当該用途に限り本ソフトウェアを使用することができます。

(vii)POS アプリケーション。本ソフトウェアが小売店の販売時点管理デバイスにインストールされている場合、本ソフトウェアを販売時点管理アプリケーション (以下「POS アプリケーション」といいます) と共に使用することができます。POS アプリケーションは、以下の機能のみを提供するソフトウェア アプリケーションです。(i) 販売およびサービス トランザクションの処理、在庫の検出と追跡、顧客情報の記録および送信、ならびに関連する管理機能の実行、または (ii) 利用可能な製品およびサービスに関する情報の、直接的および間接的な顧客への提供。お客様は、その他のプログラムが以下の条件を満たす場合に限り、本ソフトウェアと共にその他のプログラムを使用することができます。(i) 本デバイスに関する製造業者の特定用途を直接サポートしている。または (ii) システム ユーティリティ、リソース管理、あるいはウイルス対策または同様の保護を提供している。明確にするために付言すると、現金自動預け払い機 (以下「ATM」といいます) は小売店の販売時点管理デバイスではありません。

(viii) クラウド コンピューティング デバイス。お客様のデバイスでインターネット閲覧機能を使用してクラウド ホスト型アプリケーションに接続およびアクセスする場合、(i) そのデバイスでデスクトップ機能をローカルに実行することはできず、(ii) デスクトップ機能を使用して作成されたファイルは産業システムに永続的に保存されないことがあります。本ライセンス条項において「デスクトップ機能」とは、コンピューターまたはコンピューティング デバイスにより実行されるコンシューマー タスクもしくはプロセスまたはビジネス タスクもしくはプロセスを意味します。これには、ワード プロセッシング、表計算、データベース、スケジュール作成、家計簿が含まれます。

e. バックアップ用の複製。お客様は、バックアップ目的で本ソフトウェアの複製 1 部を作成できます。また、本ソフトウェアをスタンドアロン ソフトウェアとして取得した場合は、以下に規定するとおり、そのバックアップ用の複製を使用して、本ソフトウェアを移管することができます。

3. プライバシー、データの使用への同意。お客様のプライバシーは、マイクロソフトにとって重要です。本ソフトウェアの一部の機能については、当該機能を使用する際に情報が送受信されます。これらの機能の多くは、ユーザー インターフェイスで無効にするか、使用しないように選択することができます。お客様は、本ライセンス条項に同意し、本ソフトウェアを使用することで、マイクロソフトが、Microsoft プライバシーに関する声明の記載 (aka.ms/privacy)、および本ソフトウェアの機能と関連付けられているユーザー インターフェイスの記載に従って、情報を収集、使用、および開示できることに同意します。

4. 第三者への譲渡。

a. デバイスにプレインストールされたソフトウェア。お客様は、デバイスにプレインストールされた本ソフトウェアを取得した場合、ライセンスを取得したデバイスと共にのみ、本ソフトウェアを使用するライセンスを別のユーザーに直接譲渡することができます。お客様は、本ソフトウェア、およびデバイスと共に提供された場合は、プロダクト キーを含む正規の Windows ラベルを含めて譲渡しなければなりません。許諾された譲渡を行う前に、本ソフトウェアの譲受者は本ライセンス条項が譲渡および本ソフトウェアの使用に適用されることに同意しなければなりません。

b. スタンドアロン ソフトウェア。お客様は、本ソフトウェアをスタンドアロン ソフトウェアとして取得した場合、お客様が所有する他のデバイスに本ソフトウェアを移管することができます。また、(i) お客様が本ソフトウェアの最初のライセンス ユーザーであり、また、(ii) 新しいユーザーが本ライセンス条項の条件に同意すれば、本ソフトウェアをそのユーザーが所有するデバイスに移管できます。お客様は、本ソフトウェアを移管するために、当社がお客様に作成を許可したバックアップ用の複製、または本ソフトウェアを収録したメディアを使用することができます。お客様が本ソフトウェアを新しいデバイスに移管する場合は必ず、本ソフトウェアを以前のデバイスからアンインストールしなければなりません。デバイス間でライセンスを共有する目的で本ソフトウェアを移管することはできません。

5. 許可されたソフトウェアおよびライセンス認証。お客様は、適切にライセンスを取得しており、本ソフトウェアが正規のプロダクト キーまたはその他の許可された方法で適切に有効化およびライセンス認証されている場合に限り、本ソフトウェアを使用することが許可されます。お客様が本ソフトウェアの使用中にインターネットに接続したときに、本ソフトウェアによってマイクロソフトまたはその関連会社への問い合わせが自動的に行われ、本ソフトウェアが正規のものであることが確認され、そのライセンスがライセンスを取得したデバイスに関連付けられます。本ソフトウェアのライセンス認証は、インターネットまたは電話により、手動で行うこともできます。いずれの場合も、一定の情報が送信され、インターネット、電話、および SMS サービスの料金が発生することがあります。本ソフトウェアでは、ライセンス認証 (またはお客様のデバイスのコンポーネントを変更すると必要になる場合があるライセンス再認証) の際に、本ソフトウェアのインストール済みのインスタンスが偽造品であるか、ライセンスが適切に取得されていないか、不正な変更が含まれているか、が確認されることがあります。ライセンス認証に失敗した場合、改変されたマイクロソフト ソフトウェアを正規のマイクロソフト ソフトウェアに置き換えることで本ソフトウェアの修復が試みられます。また、本ソフトウェアの適切なライセンスを取得するよう求める通知がお客様に表示されることがあります。ライセンス認証を無視または回避することは、禁止されています。お客様のソフトウェアが正規のものであるかどうか、およびお客様が適切にライセンスを取得しているかどうかを確認するには、(aka.ms/genuine) をご参照ください。特定の更新プログラム、サポート、およびその他のサービスは、正規のマイクロソフト ソフトウェアのユーザーにのみ提供される場合があります。

6. 更新。お客様は、マイクロソフトまたは正規の提供元からのみ更新プログラムを取得できます。マイクロソフトは、当該更新プログラムをお客様に提供するために、お客様のシステムを更新する必要がある場合があります。本ソフトウェアでは、システムおよびアプリケーションの更新プログラムが定期的に確認され、自動的にダウンロードおよびインストールされることがあります。お客様のデバイスで自動更新が有効になっている場合、お客様は、本ライセンス条項に同意することにより、追加通知なくこのような種類の自動更新プログラムを受け取ることに同意するものとします。

7. 地理的制約と輸出規制。お客様による本ソフトウェアの使用が特定の地域に制限されている場合、お客様はその地域でのみ本ソフトウェアのライセンス認証を行うことができます。また、お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法 (輸出対象国、エンド ユーザーおよびエンド ユーザーによる使用に関する制限を含みます) を遵守しなければなりません。地理的制約および輸出規制の詳細については、(aka.ms/georestrict) および (aka.ms/exporting) をご参照ください。

8. サポートおよび払い戻し手続きソフトウェア全般のサポート オプションについては、デバイス製造業者またはインストール業者にお問い合わせください。その際、本ソフトウェアと共に提供されるサポート番号をお知らせください。更新プログラムおよび追加ソフトウェアをマイクロソフトから直接取得した場合、適切にライセンスを取得したソフトウェアについて、マイクロソフトから限定サポート サービスが提供されることがあります。詳細については、(aka.ms/mssupport) をご参照ください。お客様が払い戻しを要求する場合、製造業者またはインストール業者に問い合わせて、返金方針を確認してください。お客様は、この方針に従わなければなりません。この方針により、お客様は、払い戻しを受けるために本ソフトウェアと共に、本ソフトウェアがインストールされているデバイス全体を返品することが求められる場合があります。

9. お客様の居住地 (または会社の場合は主たる業務地) が米国内である場合の拘束力のある仲裁と集団訴訟の権利放棄
当社は紛争が発生しないことを願っています。ただし、紛争が発生した場合、お客様および当社は、60 日間、解決に向けて非公式に努力することに同意するものとします。解決できなかった場合、お客様および当社は、連邦仲裁法 (以下「FAA」といいます) に準拠した、米国仲裁協会 (以下「AAA」といいます) による拘束力のある個別の仲裁によって解決することに同意し、裁判官または陪審員による裁判所への提訴を行わないものとします。この場合、中立的な仲裁人が決定を下し、仲裁人の決定は、FAA に基づく限定された上訴権を除き、最終的なものとなります。集団訴訟、集団仲裁、司法長官による民事訴訟、およびいずれかの当事者が代表者として提起するその他の訴訟は許可されません。両当事者の同意なしに、個別の訴訟を併合することも許可されません。「当社」には、マイクロソフト、デバイス製造業者、およびソフトウェア インストール業者が含まれます。

a. 紛争は知的財産権を除くすべてを対象とすること。「紛争」という用語は、可能な限り広い意味で使用します。紛争には、契約、保証、不法行為、制定法、法令、規制を含むあらゆる法理に基づく、お客様と製造業者もしくはインストール業者の間、またはお客様とマイクロソフトの間における、本ソフトウェア、その対価、または本ライセンス条項に関するすべての請求または紛争が含まれます。ただし、お客様、お客様のライセンサー、当社、または当社のライセンサーの知的財産権の強制または有効性に関連する紛争を除きます。

b. まず紛争通知を郵送すること。紛争が発生し、当社のカスタマー サービス担当者が解決できなかった場合、紛争通知を米国郵便で製造業者またはインストール業者の法務部門宛てに送付します。お客様がマイクロソフトとの紛争を提起する場合、郵便にて Microsoft Corporation (ATTN: LCA ARBITRATION, One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399) まで送付してください。その際、お客様の名前、住所、連絡方法、問題の内容、および要求事項をお知らせください。紛争通知フォームは、(aka.ms/disputeform) から入手できます。当社も、お客様との紛争を提起する場合、同様に通知を送付します。紛争が解決せずに 60 日経過した場合、お客様または当社は仲裁を開始することができます。

c. 少額裁判所の選択。お客様は、少額裁判所の要件を満たしている場合、紛争通知を郵送する代わりに、お客様の住所地 (もしくは会社の場合は主たる業務地) またはお客様とマイクロソフトの間の紛争である場合は米国ワシントン州キング郡の少額裁判所でも、当社を提訴できます。紛争通知を郵送して当社が解決に向けて努力する 60 日間の猶予をいただけると幸いですが、お客様は、少額裁判所に提訴する前に、紛争通知を郵送する必要はありません。

d. 仲裁手続き。すべての仲裁は、AAA が、その商事仲裁規則 (ただし、お客様が個人であり、本ソフトウェアを個人的にもしくは家庭で使用する場合、または、お客様が個人であるか本ソフトウェアをどのように使用するかにかかわらず 75,000 米ドル以下の紛争の場合は、AAA の消費者仲裁規則) に基づいて実施します。詳細については、www.adr.org を参照するか、1-800-778-7879 まで電話でお問い合わせください。仲裁を開始するには、(aka.ms/arbitration) で入手可能な仲裁請求用紙を AAA に提出し、その写しを製造業者もしくはインストール業者 (またはお客様とマイクロソフトとの間の紛争である場合はマイクロソフト) に郵送します。25,000 米ドル以下の紛争では、仲裁人が対面による期日を開く正当な理由があると判断した場合を除き、すべての期日は電話で行われます。対面による期日は、お客様の住所地 (もしくは会社の場合は主たる業務地) または当社の主たる業務地 (お客様とマイクロソフトの間の紛争である場合は米国ワシントン州キング郡) のいずれかお客様が選択する場所で実施するものとします。仲裁人は、裁判所と同じ賠償をお客様個人に認めることができます。仲裁人は、差し止め命令による救済または宣言的救済をお客様に対して個別に、お客様の個別の請求に応じるために、認めることができます。

e. 仲裁手数料および支払い

(i) 75,000 米ドル以下の紛争。製造業者もしくはインストール業者 (またはお客様とマイクロソフトの間の紛争である場合はマイクロソフト) は、お客様による申し立て手数料を速やかに払い戻し、AAA および仲裁人の手数料および費用を支払います。お客様が、仲裁人が指名される前に当社から提示された書面による最終和解案を拒否し、お客様による紛争に対して仲裁人の決定 (以下「裁定」といいます) まで行われ、仲裁人が当該最終和解案を超える賠償をお客様に認めた場合、製造業者もしくはインストール業者 (またはお客様とマイクロソフトの間の紛争である場合はマイクロソフト) は、(1) 裁定と 1,000 米ドルのいずれか高いほうの金額を支払い、(2) お客様が負担する合理的な弁護士手数料がある場合は、その金額を支払い、ならびに (3) お客様の弁護士が仲裁においてお客様の請求について調査、準備、および追求するために発生した合理的な費用 (鑑定人の手数料および費用を含む) を払い戻すものとします。金額についてお客様および当社が合意していない場合は、仲裁人が決定するものとします。

(ii)75,000 米ドルを超える紛争。申し立て手数料、ならびに AAA および仲裁人の手数料および費用の支払いには、AAA 規則が適用されます。

(iii) 任意の金額の紛争。お客様が仲裁を開始した場合、当社は、かかる仲裁に根拠がない、またはかかる仲裁が不適切な目的で申し立てられたと仲裁人が判断した場合を除き、当社が負担する AAA もしくは仲裁人の手数料および費用、または払い戻したお客様の申し立て手数料支払いを要求しないものとします。当社が仲裁を開始した場合、当社は、申し立て、AAA、および仲裁人の手数料および費用を支払います。当社は、いかなる仲裁においても、当社が負担する弁護士の手数料または費用をお客様に要求しないものとします。手数料および費用は、係争金額を算定する際に、考慮に入れないものとします。

f. 1 年以内に申し立てること。お客様および当社は、いかなる請求または紛争 (知的財産権に関する紛争を除きます。第 9 条 a 項をご参照ください) も、申し立てることが可能になった最初の日から 1 年以内に少額裁判所に申し立てるか、または仲裁を申し立てなければなりません。1 年以内に申し立てなかった場合、かかる請求または紛争は永久に排除されます。

g. 可分性。集団訴訟の権利放棄が紛争全体または紛争の一部に対して違法または執行不能と判断された場合、その部分は仲裁ではなく裁判所で手続きが進められ、残りの部分は仲裁で手続きが進められるものとします。第 9 条に規定するその他の条項で、違法または執行不能と判断されたものがある場合、その条項は第 9 条の残りの条項とは切り離されますが、残りの条項は、引き続き適用されるものとします。

h. AAA 規則との不一致。本ライセンス条項と AAA の商事仲裁規則または消費者仲裁規則との不一致がある場合には、本ライセンス条項が適用されます。

i. 当事者または第三者受益者としてのマイクロソフト。マイクロソフトがデバイス製造業者であるか、お客様が本ソフトウェアを小売業者から取得された場合、マイクロソフトが本ライセンス条項の当事者になります。それ以外の場合、マイクロソフトは、本ライセンス条項の当事者ではありませんが、お客様と製造業者またはインストール業者との間において裁判外の交渉および仲裁を通して紛争を解決するという契約における第三者受益者です。

10. 準拠法。契約違反に対する請求、地域の消費者保護法、不正競争防止法、および黙示の保証に関する法令に基づく請求、不当利得返還請求、ならびに不法行為に基づく請求を含む、本ソフトウェア、その対価、または本ライセンス条項に関するすべての請求および紛争には、抵触法にかかわらず、お客様の住所 (または会社の場合は主たる業務地) の地域または国の法令が適用されます。ただし、仲裁に関するすべての規定は FAA に準拠するものとします。

11. 消費者の権利、地域による差異。本ライセンス条項は、一定の法的な権利を規定します。お客様は、地域や国によっては、本ライセンス条項の定めにかかわらず、消費者としての権利など、本ライセンス条項と異なる権利を有する場合があります。また、お客様は本ソフトウェアの取得取引の相手方に対して権利を取得できる場合もあります。本ライセンス条項は、お客様の地域または国の法令が権利の変更を許容しない場合、かかる本ライセンス条項以外の権利を変更しないものとします。たとえば、お客様が以下のいずれかの地域で本ソフトウェアを取得された場合、または当該国の強行法が適用される場合、以下の規定がお客様に適用されます。

a. オーストラリア。「品質保証規定」に関する記述は、マイクロソフト、または製造業者もしくはインストール業者により提供される明示の保証に関する記述を意味します。当該品質保証規定は、オーストラリア消費者法に基づく法定保証に従ったお客様の権利および救済を含め、法律に基づきお客様に付与されている場合があるその他の権利および救済に加えて提供されます。
本項では、「商品」とは、マイクロソフト、または製造業者もしくはインストール業者が明示の保証を提供する本ソフトウェアを意味します。マイクロソフトの商品には、オーストラリア消費者法に基づき除外することのできない保証が付随するものとします。お客様は、重大な欠陥に対する交換または返金、およびその他の合理的に予測可能なあらゆる損失または損害に対する補償を受ける権利を有します。また、お客様は、かかる商品が合格品質に至っておらず当該欠陥が重大な欠陥とは見なされない場合に、かかる商品の修理または交換を受ける権利を有します。

b. カナダ。お客様は、インターネット アクセスを無効にすることで、お客様のデバイスで更新プログラムを受け取ることを停止できます。お客様がインターネットに再接続したときに、本ソフトウェアは更新プログラムの確認およびインストールを再開します。

c. 欧州連合。以下の第 12 条 d. (i) 項に規定されているアカデミック パックの使用の制限は、本サイト (aka.ms/academicuse) に記載されている地域では適用されません。

d. ドイツおよびオーストリア。

(i) 保証。適切にライセンスを取得したソフトウェアは、実質的に、本ソフトウェアに付属しているマイクロソフト資料に説明されているとおり動作します。ただし、製造業者またはインストール業者、およびマイクロソフトは、ライセンスを取得したソフトウェアに関して契約上の保証は一切いたしません。

(ii) 責任の制限。製造業者もしくはインストール業者、またはマイクロソフトは、故意による行動、重過失があった場合、および製造物責任法に基づく請求が申し立てられた場合、ならびに人の死亡もしくは傷害、または物理的傷害が発生した場合、制定法に従って責任を負います。
前文に従って、製造業者もしくはインストール業者、またはマイクロソフトが重大な契約上の義務、すなわち、本ライセンス条項の正当な履行を支援する義務の遂行、本契約の目的を危うくする義務の不履行、および当事者が常に信頼できる義務の遵守 (「基本義務」といわれます) に違反した場合、製造業者もしくはインストール業者、またはマイクロソフトは軽過失に限り責任を負います。その他の軽過失については、製造業者もしくはインストール業者、またはマイクロソフトは責任を負いません。

12. 追加の注意事項

a. ネットワーク、データ、およびインターネットの使用。本ソフトウェアおよび本ソフトウェアを介してアクセスするサービスの一部の機能では、お客様のデバイスからインターネットにアクセスする必要がある場合があります。お客様によるアクセスおよび使用 (料金を含みます) には、ご利用の移動体通信またはインターネット プロバイダーとの契約の条項が適用される場合があります。本ソフトウェアの一定の機能を使用すると、より効率的にインターネットにアクセスできますが、本ソフトウェアによる使用料率の計算結果はご利用のサービス プロバイダーによる算定結果と異なる場合があります。お客様は、(i) お客様自身のプランおよび契約の条項を理解して遵守すること、および (ii) パブリック ネットワークやオープン ネットワークなどのネットワークを使用またはネットワークにアクセスすることによって生じる問題、に常に責任を負うものとします。お客様は、権限がある場合に限り、本ソフトウェアを使用してネットワークに接続したり、当該ネットワークに関するアクセス情報を共有したりすることができます。

b. H.264/AVC および MPEG-4 ビジュアル規格と VC-1 ビデオ規格。本ソフトウェアには、H.264/MPEG-4 AVC および VC-1 ビデオ デコーディング テクノロジが含まれていることがあります。このテクノロジについては、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。本製品は、消費者による個人的かつ非商業的使用を前提とし、「AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE」、「VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE」、「MPEG-4 PART 2 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE」に基づいて次の用途に限ってライセンスされています。(i) 上記の規格 (以下「ビデオ規格」といいます) に従ってビデオをエンコードすること、または (ii) 個人的かつ非商業的活動に従事する消費者がエンコードした AVC、VC-1、および MPEG-4 PART 2 ビデオをデコードする、もしくは、かかるビデオを提供するライセンスを有するビデオ プロバイダーから取得したビデオをデコードすること。その他の用途については、明示か黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。詳細情報については、MPEG LA, L.L.C. から入手できます。WWW.MPEGLA.COM をご参照ください。

c. マルウェア対策。マイクロソフトは、お客様のデバイスをマルウェアから保護することに注意を払っています。本ソフトウェアでは、他の対策がインストールされていないか、有効期限が切れている場合、マルウェア対策が有効になります。有効にするには、他のマルウェア対策ソフトウェアを無効にするか、場合によっては削除する必要があります。

d. 権利限定バージョン。お客様が取得された本ソフトウェアのバージョンについて、特定または限定用途と明記されているか、その他かかる用途が意図されている場合、お客様は特定されている用途に限り、本ソフトウェアを使用することができます。お客様は、その他のプログラムが以下の条件を満たす場合に限り、本ソフトウェアと共にその他のプログラムを使用することができます。本デバイスに関する製造業者の特定用途を直接サポートしている。またはシステム ユーティリティ、リソース管理、あるいはウイルス対策または同様の保護を提供している。

(i) アカデミック パック。アカデミック パックを使用する場合、お客様は、購入時点で教育機関の学生、教職員、またはスタッフでなければなりません。

(ii) 評価版。評価 (またはテストもしくはデモンストレーション) 版を使用する場合、お客様は、本ソフトウェアを販売すること、実際の運用環境で使用すること、または評価期間の経過後に使用することはできません。本ライセンス条項にこれと異なる規定がある場合でも、評価版ソフトウェアは「現状有姿」で提供されます。

(iii)NFR。お客様は、「NFR」または「Not for Resale」と明記されているソフトウェアを販売することはできません。

13. 完全合意。本ライセンス条項 (および製造業者もしくはインストール業者、またはマイクロソフトが提供し、お客様が使用する、任意の追加ソフトウェア、更新プログラム、およびサービスに付属する、印刷されたライセンス条項またはその他の条項) ならびに本ライセンス条項に記載されている Web リンクに掲載されている条項は、本ソフトウェアならびに当該追加ソフトウェア、更新プログラム、およびサービスに関する完全なる合意です (ただし、製造業者もしくはインストール業者、またはマイクロソフトが、当該追加ソフトウェア、更新プログラム、またはサービスについてその他の条項を提供している場合は、この限りではありません)。本ライセンス条項は、本ソフトウェアの実行後、microsoft.com/useterms にアクセスするか、本ソフトウェアから [設定]、[システム]、[バージョン情報] の順に選択することで確認できます。また、本ライセンス条項に記載されているリンク先に掲載されている条項は、ブラウザーのアドレス バーにその URL を入力することでも確認できます。お客様は、かかる条項を確認するものとします。お客様は、本ソフトウェアまたはサービスを使用する前に、リンク先の条項を含む本ライセンス条項をお読みになるものとします。お客様は、本ソフトウェアおよびサービスを使用することによって本ライセンス条項およびリンク先の条項を承認することとなることを理解するものとします。また、本ライセンス条項には情報が掲載されているリンクも記載されています。注意事項および拘束力のある条項が記載されたリンクは、以下のとおりです。

·Windows 10 のプライバシーに関する声明 (aka.ms/privacy)

·Microsoft サービス規約 (aka.ms/msa)

·Adobe Flash Player ライセンス条項 (aka.ms/adobeflash)

****

免責

お客様のデバイス上の本ソフトウェア (アプリケーションを含みます) は、現状有姿でライセンスされます。お客様の地域の法令により最大限認められる範囲において、本ソフトウェアの品質および性能に関するすべての危険は、お客様が負担するものとします。本ソフトウェアに瑕疵があることが判明した場合、お客様はすべての修正等にかかる総費用を負担するものとします。デバイス製造業者とマイクロソフトのいずれも、本ソフトウェアについていかなる明示的な保証または条件も負いません。製造業者およびマイクロソフトは、お客様の地域の法令により認められる範囲において、商品性、品質、特定目的に対する適合性、侵害の不存在に関するものを含め、黙示の保証、条件、その他の責任を一切負いません。本ライセンス条項では変更できない地域の法令による追加の消費者の権利または法定保証が存在する場合があります。

お客様の地域の法令により、契約上の制限にかかわらず保証、条件、その他の責任を負う必要がある場合、その有効期間は、最初のユーザーが本ソフトウェアを取得後 90 日間に制限されます。製造業者またはマイクロソフトが当該保証、条件、その他の責任を負う場合、製造業者またはマイクロソフトは、自らの選択において、(I) 無償で本ソフトウェアを修理もしくは交換するか、または (II) 本ソフトウェア (もしくは自らの選択により、本ソフトウェアがインストールされたデバイス) の返品を受け入れて購入金額を払い戻します。以上が、お客様の地域の法令に基づく保証、条件、その他の責任に対するお客様の唯一の権利となります。

損害賠償を受ける正当な根拠がある場合、お客様の地域の法律で禁止されていない限りにおいて、お客様から製造業者またはマイクロソフトに対する請求は、お客様が本ソフトウェアに対して支払った金額 (お客様が本ソフトウェアを無償で取得した場合は 50 米ドル) を上限とする直接損害に限定されます。お客様は、本ライセンス条項の何らかの部分または法理に基づくとを問わず、その他の損害 (逸失利益、直接損害、結果的損害、特別損害、間接損害、または付随的損害を含みます) に関して賠償またはその他の請求を行うことはできないものとし、かかる請求権を放棄します。この制限は、(I) 本契約、本ソフトウェア (アプリケーションを含みます)、デバイス、サービス、データの破損もしくは損失、データの送受信の失敗、第三者のインターネット サイト上のコンテンツ (コードを含みます)、または第三者のプログラムに関連した事項、および (II) 契約違反、保証責任、厳格責任、過失、もしくはその他の不法行為に対する請求、制定法もしくは法令の違反に対する請求、不当利得返還請求、またはその他の法理に基づく請求、に適用されます。

本ライセンス条項に規定する損害の免責および救済手段の制限は、他の救済手段が提供されない場合 (本ソフトウェアは現状有姿でライセンスされます)、(お客様の地域の法令により要求される) 修理、交換、もしくは払い戻しによってもお客様の損失が完全に補償されない場合、製造業者もしくはマイクロソフトがこのような損害の可能性を認識していたか、もしくは認識し得た場合、または本ライセンス条項に規定する救済手段がその実質的目的を達成できない場合にも、適用されます。

お客様のデバイスが保証の対象であるかどうかについては、デバイス製造業者にお問い合わせください。

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容
取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象
保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外
以下の場合は保証の対象とはなりません。
1）保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
2）修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
3）ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
4）中古品でご購入された場合
5）火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
6）お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
7）接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
8）取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
9）合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
10）弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
11）弊社が寿命に達したと判断した場合
12）保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
13）その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理
1）修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2）発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3）本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4）弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責
1）本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2）弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3）本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲
弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

MEMO

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
　したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
　また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● eviDaemon の名称及びそのロゴは、セイコーインスツル（株）の登録商標です。
　eviDaemon の名称及びそのロゴは、セイコーインスツル（株）からセイコーソリューションズ（株）にしたライセンスに基づき使用されています。
● Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
●記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

APX-TSFI/5P　管理マニュアル　　2020.3.4
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器

商品アンケートにご協力お願いします。

型　番	APX-TSFI/5P
保証期間	ご購入日より **5** 年間有効です

販売店	ご購入日
	住所・店名 印
	TEL.（　　）　　－

☆お客様	ふりがな
	お名前 様
	TEL.（　　）　　－
	〒□□□-□□□□ ご住所

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。

記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。
販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

ご販売店様へ

1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご記入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（修理センター宛）にご依頼ください。

I-O DATA
株式会社 アイ・オー・データ機器

【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク（NAS）に関するホワイトペーパーを掲載しています。
必要に応じてご確認ください。
https://www.iodata.jp/biz/whitepaper/

【保守サービスのご案内】

アイオー・セーフティ・サービス（ISS）は、本製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。
設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。詳しくは以下をご確認ください。

https://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/

進化する明日へ Continue thinking
株式会社 アイ・オー・データ機器
https://www.iodata.jp/